

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	谷本仰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学 I	1	前期	必修		71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の実施にあたっては対話を大切にしています。</p>
---	--------------------------------

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>テスト、及び授業評価アンケートの総合的判断に加え、それらに数値として反映しない、授業における学生たちの積極的な雰囲気(笑顔、楽しんでいる様子、発言、相互の関わり等)、そして独自に実施している全授業毎の全員へのアンケートにおいて示された意見や感想を含むフィードバックによる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的に妥当であると考え、キリスト教学が必修科目として設定されていることは、この大学の建学の精神そのもの、この大学の礎や柱そのものがキリスト教であることを表している。この大学が大切にしようとしているキリスト教の精神や、思想、さらには信仰を学生たちが日常的に学んでいく過程そのものが、この授業である。その意味ではこの授業・科目はこの大学での全ての学びのベースとしてあることが求められていると理解しており、キリスト教学は、他の教科とは一線を画する内容や方向性をもっていなければならないと考える。この授業において目指されているのは、知識の習得や理解だけではない。むしろ、聖書・キリスト教が語ってやまないメッセージそのものを分かちあうことこそ、この授業の核心である。希望のこと、愛すること、生きること。諦めないこと。自分を大切にすること。他者との対話や共感を大切にすること。そのことは単にキリスト教のメッセージの中身として「理解」「知る」だけでは不十分である。それらが、ひとりひとりの学生たちを問い、学生たちがそれとの対話に生きるようになることこそが大切なのだと思う。学生たちの学習到達度の自己評価を超えて、この授業を通じて分かち合われたものが、「種」のようにひとりひとりのいのちに満たされていくことを願っている。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>特に大きな改善課題はないと考える。クラス毎に、学年ごとに、個性があり、違いがある。その個性や違いに応じながら、今後も授業を進めていきたいと思う。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>キリスト教の授業は、楽しい。学生たちとの対話に満ちた90分は、いつも授業を担当する自分自身を新たに、開いてくれる。その対話の中で、希望を学生たちと分かちあうことができるよう、今後も努力していきたいと思う。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	柳澤伸一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ジェンダー論	全学年	前期	選択	はい	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○		

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機では、「単位数を確保する」を選択した者が大半で、「関心のある内容である」を選択をした者は少数である。必ずしも初めから積極的な受講姿勢を期待し、難しい状況の中で、新聞記事をはじめ、できる限り最新の情報を使いながら、ジェンダーが女性の生き方に深くかかわる問題であることをつかめるように心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成されなかった		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は72で、秀・優は少なく、大半が良で、可もいた。到達度自己評価では、全ての項目の平均値が、2.8-3.0で、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」で、相対的に、そうだと思うが多かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、総合人間科目の一つで、DP1だけでなく、DP2, DP3にも関わる位置づけがなされている。それは、ジェンダーが女性の全生涯に深くかかわる問題であるので、妥当である。ただし、授業に、キャリア形成や専門分野との関連性を感じられる工夫が必要であり、それがないと、単位数を確保するための受講、単なる断片的な知識の獲得に終わりがかねない恐れがある。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業は、毎回、テーマに基づいて、レジュメ1枚と関連資料数枚を配布し、基本的に講義形式で進めた。資料の作成に際しては、最近の新聞記事も使って、ジェンダーをめぐる今日的諸問題が捉えられるようにした。中絶論争に関するレポートを課し、アメリカの女性の間での意見の対立について考えさせたことは、有意義であった。しかし、予習・復習について、学生任せにしたきらいがあり、教員には課題を具体的に与える姿勢が求められた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>講義を通して、ジェンダー問題について新しい知見を与える課題はそこそこ達成できた、しかし、専門分野とのつながりをつかめるようにする工夫やアクティブラーニングを促す工夫では、改善の余地がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	林裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
総合人間学概論	1	前期	必修	はい	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 本学の教育目的である「キリスト教を教育の基盤として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かに人間性を涵養し、もって人類の福祉と文化の発展に貢献する有為の人物を育成する」を実現するための一年前期の必修科目である。授業回数8回である。そのような中で、受講動機として、4.5%でも「関心のある」学生がいたことは貴重である。第一回目の授業で、8回の授業の予定一覧が配布されているので、さまざまな分野の第一人者を中心とした10人の担当者による連続講義的なイメージは当初からもたせることはできた。</p> <p>② 一回目の授業で、「本授業の目的と概要」が説明され、第二回目の授業で、人文学部の両学科長による、「学科の教育目標と領域における課題」がテーマであり、そこで初めて人文学部単位の講義となった。この二回目の授業で、評価についても話をしたので、学生は全体の理解が進んだ。</p> <p>③ 最終回(8回目)が、人文学部が選んだ講師による人文学部だけの講義であり、その時間の一部を、評価課題に対する説明を行った。昨年度は、不合格者が5名出たこともあり、単位評価についての説明は最終回で入念に行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			やや達成された

(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。

<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績は、不可が一名であり、その理由は主に課題提出の授業を欠席したことであった。最履修者4名もきちんと学び、履修した。評価割合の詳細は、A(秀)が20%、B(優)が56%、C(良)が20%であり、96%がここまで収まっている。理解は進んでいるということが確認されたと考える。評価割合は、レポートが90%であり、その他が10%である。出席状況に問題がない限り、事実上レポートで決定していることになる。そのレポート(90%)は、知識理解が55%、態度が35%である。レポートを評価する際の評価基準は、講義内容を取り込んでいることであり、それを自分の言葉で語れる部分も含みこんでいることである。</p>
--	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「総合人間科学」領域であり、必修である。動機づけが、1. 受講動機から判断すると、「関心のある内容である」が、4.5%あることは意欲の高い学生の存在を示す。また、到達度自己評価中の6「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」を選んだ学生が、3.7(平均点)である。この数字は、総合人間科学領域では極めて高い数字であり、この科目の配置の狙いの妥当性が確認された。</p> <p>② DP, 行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から、知識理解が60%の割合である。最も進んだ点がある。それは、到達度自己評価中の最高の3.8(平均値)となったのが、2「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の項目であったことから推察される。これにより内容的妥当性は確認された。</p> <p>③ まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方について 外に学習していない理由の項目に対して、30の意見が寄せられた。その中に共通するものとして、「何をしたいのかわからなかったから」(とそれに類するもの)が、8あった。次年度はできる限り早い授業回で、オリエンテーションを学科担当者が念入りにすべきである。 学生の意見として、「おしゃべりが多くて聞こえない時があった」が出ている。この科目のように全学的必修科目で、規模が多くなる授業では、小さな私語でも注意していく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">4. 学習量の評価(4)授業の課題以</p>
---	--

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総合的評価と課題をお願いします。</p>	<p>大学での最初の全学共通の科目であり、学生に本学の建学の精神に触れさせ、学ばせる絶好の時期に配置されている科目である。専門科目では聞けない幅広い内容が講義されることで、総合人間科学の目的(専攻する学問分野の違いを超えて学習する上での根幹となる総合的視点と豊かな人間性を育てるための教養教育)という目的は達成されていることは、学生の自由記載意見から確認される。 何をしたいのかわからないとの声に対しては、第一回目の授業でテーマ「感恩奉仕」の建学の精神と授業の目的と概要が示されていることに加えて、第二回授業で学科から評価の説明がなされる。次年度は、評価について、具体的にレポート等の割合も示しておくことを引き継いでいく。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化学科
氏名	村上 太郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
行動科学		前期	選択	はい	

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>選択科目であるため、講義内容に関心を持っている学生または単位数の確保といった動機が主であると思われるが、授業を通して内容に興味を持ってもらえるようなテーマ・取り扱う内容を工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>「到達度自己評価」においては、学生評価の平均値がすべて3点を上回っていた。分布としては、「まあまあそうだと思う」と「わりにそうだと思う」に8割以上の学生が集中していることがうかがえる。とはいえ、様々な学部・学科の学生が非常に多く受講していることから、それぞれの専攻を勉強している学生それぞれの受講ニーズを等しく満たすことは非常に難しいため、この程度の平均値は比較的高いものではないかと考える。</p> <p>学習量としては、授業外での復習は、学生の自主性に任せてはいるものの勤めていた。その結果、復習を度々行っている学生もいた。授業の中で完結できるような内容を心がけていたため、「学習量の評価」としては適切であると考え。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DPからみた内容的妥当性 本科目は選択科目であり、学生の受講動機をふまえると難しい部分もあるが、学生も一定の成績をあげていることから、内容的には妥当であると考え。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」に関しては、すべての項目において平均値が3点以上あり、中には4点を 超える値が示されたものもあった。とくに、「説明の理解のしやすさ」は様々な学部・学 科の学生からの評価として3点後半から平均値が4点超にかけて高い値であることは評 価に値すると思われる。今後もこの水準を落とさないように進めていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>講義に対する学生の動機付けを維持することは変わらずに課題であると考えられるが、 授業内容を工夫していくことが今後も重要である。 授業内容、進め方に関しては高い評価を得ていたと思われるので、今後もこの水準 を維持したい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	八木康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康科学	1	前期	選択	はい	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>健康、運動、栄養、生活習慣、人体生理学、運動生理学、運動関連代謝系の内容の把握に重点を置いた。これらの内容は自己を含め人の健康管理をする上で基礎である。しかし、受講の動機は22%の学生が興味のある内容と回答し、88%が単位数の確保と答えていた。</p> <p>授業計画では小テストを単元毎に設け、予習復習範囲を明示し、教科書の内容を繰り返し読み込ませるよう促した。小テストは1週間以内に採点結果を各学生に示した。学生は小テストに出る問題を推測しながら予習をして授業に参加するようになり、授業で内容を理解しようという姿勢が見えるようになり、小テストのための復習をすることが当たり前のこととして定着していったように感じられた。1度目の小テストが終了した頃からクラス全体に予習復習が態度として表れたと感じられた。課題以外の学習に取り組んだ学生は26名(/26名)で、何らかの形で予習、復習を行っていたと考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は72(±13)点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは7名と、問題の難易度から言っても予想以上に低かった。目標達成できたと答えた総数は19人(19人中)で100%という高値となったが、平均点はさほど高くなかった。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては19人(100%)、思考判断に関する問題は18(94%)であった。意欲関心も高く19人(100%)と高値を示した。英語学科の学生に取り、新鮮な知識として受け取られているようである。今後、関心と成績のギャップを埋めるよう、授業目標の達成度の程度を高めるような工夫を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活習慣管理においても基本的知識である。また、美容的自己管理においても運動の知識は大きな域を占めておりQOLに重要である。授業準備の欄で指摘したように、学生も一定の成績を収めたことから、内容的には妥当であると思われる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が成績の割には低かったが、思考判断として何を問うているか学生には伝わっていると思われ、方法的妥当性はあると考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、予習を全くしなかった者が4名(18名中)、復習をしなかった者が4名と予想より多かった。じっくり考えてもらう時間は十分にとれたと考える。予習・復習の時間が想定より少なかったことも反省点である。次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>健康管理、健康づくりの基礎的知識の形成は概ね達成できた。 授業過程を振り返ってみたとき、じっくり検討を加える時間がなかったため、予習課題の提示などで改善を図りたい。 以上から、毎回のねらいを具体的に示すこと、可能な限り単元毎のまとめの時間をとるか、復習課題を意識的に提示するようにすることをくわえていきたい。 配布物に対する学生の意見を取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	八木康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康科学実習 I	全学年	前期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○			

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講者は、学期の始講と最終講に、体力測定および体組成(体脂肪量等)の測定を行ない、運動量と身体組成や健康度との関係、運動効果の把握が体感できるように務めた。②3回の講義時間を用いて、「筋力トレーニングの方法、トレーニング機器の使い方」、「心拍数を基準とした持久性トレーニングの方法」、「ストレッチ体操の実際、ウォーミングアップとクーリングダウン」について講習を行い、授業外に、また将来にわたり自ら運動処方できるよう誘導した。③各受講者は、学期始めに標的運動量を算定し、毎授業時にカロリーカウンターを装着させ、自己の運動量を把握させ、運動意欲を喚起した。④1および3について毎時間記録と評価を行い、期末でそれらをまとめて実習期間全体の自己評価を行わせ、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量の関係が理解できるように努めた。⑤健康科学実習 I では、入学直後であることも考慮し、集団スポーツ種目を実施した。チームミーティングを試合前後に行わせ、所属チームの勝利のための戦略立案と実行、チームの中の個人の行動のポジティブなあり方、組織の中の個人の役割を意識した行動の実行を促した。</p> <p>その結果、受講者は積極的行動へ変容したと思われる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な成績の平均値は76(±16)点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは5名と屋敷くないが、欠席する者も少なく全員が積極的に受講していたと考える。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては86%、思考判断に関する問題は100%の者が達成したと自己評価している。意欲関心では54%に減じたが、種目やその歴史なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。</p> <p>学生による授業評価では、知識理解の観点、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が思考判断で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、ルーブリックで示すだけでなく、各授業のはじめに示す「ねらい」の表現を工夫するようにしたい。</p>					
* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「総合人間科目」であるが、必須科目に位置づけられ、初年度教育における友達づくりやストレス解放、健康づくりに最適である。また、健康管理のための運動の原理原則を実体験し確認する場として有用である。学生は積極的であり一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的高く、カロリーカウンター装着による目標運動量の達成意欲、試合数と勝利数の記載、体力体型の縦断測定比較考察は方法的に成功しており、妥当性は高い。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>試合毎に、試合の内容の反省、チーム員の役割の適切さ、勝つための役割などについて短時間で話し合い、チームとして記録用紙にまとめた。その繰り返しは積極的な参加態度、リーダーシップを産み出し、集団の中の自分の役割を意識するよう促した。更に状況によっての言葉かけのタイミングを検討したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生物と生命科学	全学年	前期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした学生が50%であった。本科目の一般教養科目としてのカリキュラム上の位置づけと講義概要を理解してもらうためパワーポイントを用い講義1回目にシラバスの説明を行なった。</p> <p>②本科目は人文学部で開講している理科系科目である。本科目に関心をもってもらうため、とくに女性の体に焦点をあてた体のしくみと疾患について、資料を新たに準備した。</p> <p>③授業中に講義内容について口頭による質問を実施し、学生の理解度を把握した。また、その理解度から適宜理解しやすい講義内容を優先し、講義を実施するようにした。授業計画の進行については変更があることを学生に事前に説明した。</p> <p>④教科書を使わず資料を配布しているため、学生には適宜重要事項を資料に記載するよう指示した。</p> <p>⑤レポート課題には評価項目だけでなく点数配分を示した。提出までには十分な時間をとるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①総合評価の平均値は65点であり、再試対象者は2名であった。90%の学生が標準レベル(60%以上)に達しており、理想的レベル80以上に達した学生は3名いた。</p> <p>②学生の知識理解の達成度は65%、学生の知識理解の到達度自己評価は、平均値が3.6で回答のレベルに差はあるものの知識を確認、修正、新たに得ることができたとしている。また、説明についても理解しやすかったと回答しているが、質評価の平均値は3.6であった。あわせ学生の到達度自己評価は、自分なりに目標を達成したと回答した学生の平均値が3.3であった。上記に記載した授業準備にくわえ学生の学習意欲をかき立てる工夫が必要である。</p> <p>③課題レポートの評価基準は明確に示したつもりであるが、学生の授業の質評価平均値は3.5であった。レポート課題については、提出前に十分に時間をとったため図書館を利用し図書、学術データベース、インターネットなどを利用していた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 この科目は一般教養科目であり選択科目である。社会人としての一般教養、基礎となる知識を培う位置づけの科目である。学生も一定の成績をおさめており、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 人文学部の学生にとりハードルが高い科目ではあるが、学生の多くが標準レベル以上の成績をおさめている。また、講義に関心もつような題材を取り入れたためか昨年度より知識理解についての成績は上昇しており内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考え。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>予復習時間に30分以上を全くかけていない学生が50%いる。一方で10%の学生が複数回にわたり時間をかけ予復習を行なったと回答している。学生の学習の取り組みに差がでており、結果的に到達度に差がでたと思われる。この差を是正するために講義時間の中に復習の時間を設ける、学生間で意見交換を行ない講義内容の整理を行なうなどの機会をつくりたい。また、レポート課題については、図書館の利用を促すとともに、受講生が全学年におよぶことから、とくに低学年にはその利用方法について具体的に提示したい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>一般教養科目としての本科目の位置づけから、一般教養と基礎知識を培うという目標は一応達成できた。しかし、受講生が全学年に及ぶことから学生の意欲・学習達成度に差がないよう配慮する必要がある。上記に記載したような取り組みが必要である。次年度は学生の学習時間の確保をはかり学習量を増やす工夫をしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	山崎勇治

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
現代社会と統計	全学年	前期	選択	いいえ	30人

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	講義の性質上、新聞紙上の生きた統計資料を毎週調べて提出させたり、戦後日本経済史を、統計資料を使ってとめたりしました。少しでも学生に現実の社会現象をリアルに理解する能力を身につけるためです。	理解につ
---	--	------

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	評価の根拠として、学生のアンケート調査があります。客観的なデータが出ていますので、改めて申し上げることはありません。来年3月をもって70歳となり、退職します。6年間にわたり講義をさせていただきましたことに、心から感謝申し上げます。西南女学院大学のますますのご発展をお祈りいたします。					来年3

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

大体において、学生は講義に積極的に参加してくれたと思っています。

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	八島 雄士

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報リテラシー	1	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度より担当した科目である。学習準備性としては、新入生であるが、高校である程度の基礎は学んだ経験があることを踏まえつつ、再度、復習確認するところからスタートし、大学4年間を過ごすために必要な操作技術のほか、レポート作成時に注意すべきこと、また、そのコツなどを学ぶことができるように配慮した。さらに、普段よく活用しているウェブのマナーや利用の注意点などを振り返る機会となることを意識した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「学修準備性」については、ほとんどの学生が当初想定した以上のレベルでPCを利用できるため、予定した以上のスキルやコツを教えることができた。その意味で、学習目標は十分に達成することができた。「学習到達度の自己評価」は、ほとんどの学生がよくできている。「学習量の評価」は、授業中に作成し、プレゼンまで実施できる程度なので、授業外での学習は必要なかったようである。「学修のための情報利用」および「図書館、インターネット利用」は、授業中にWEBを使って作品等を作成する授業なので、よく利用した。一方、プレゼンテーションのみならず、ポスター作成などにおいて、顧客ニーズを意識して作成させた。その意味では、情報発信の意識を高めることができた。学生により進捗は異なっていたため、やや進度が早いと感じた学生がいた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>情報社会における基礎的な操作技術および、その利用のコツ、マナー等を身につける科目として、本科目の位置付けは妥当と思われる。「受講動機」から見れば、その点を理解して受講した学生がほとんどと思われる。また、「学習到達度の自己評価」としても、十分に達成することができたと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質の評価」としては、妥当と思われる。とてもよくなる学生から見るときに、余裕を持ち、一方で、ついていくのが精一杯の学生から見るときに、達成感が味わえることが大事と考えているので、「学習量の評価」としては、やや不足感があるかもしれない。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>全員が優秀な成績で単位を修得できたので、授業としては成功と考えている。その理由は、少人数であったため、一人一人のケアが個別にできたこと、受講学生のもともと持っているスキルが標準以上であり、想定以上のレベルで助言等をできたことである。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報科学演習I	1	前期	選択	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れていない学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。15回の授業回数のうち、中間試験を含む第8回までは基礎技術の習得を行い、第9回以降はグループワークによる実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。</p> <p>授業アンケートの受講動機では、「関心のある内容である」71.4%と高率であり、実際、個人差はあるものの全体的に経験値が高く、授業進行が容易であった。受講人数が少ないことから、そもそもパソコンの扱いが苦手な学生は履修せず、特に得意な学生だけが集まったという印象である。よって、もともと得意な学生の能力を伸ばす、という授業スタンスになったが、専門能力そのものではなく、その基盤となる技術習得を目指すという授業趣旨からは逸脱しているように感じる。受講動機の「教員に勧められた」が0%であり、学科での履修指導に期待する。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は96であった。成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。</p> <p>授業アンケートの到達度自己評価では、全項目において全員が「まあまあ思う」以上の評価をしており、項目別の平均点分布は3.4～4.1点、全体の平均3.725点であった。</p> <p>学習量の評価については、テキストによる予習を推奨したが、授業アンケートの結果から実際の予習回数は低率であった。予習とリンクした課題を設ける等の改善策を検討したい。授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であるが、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は非常に高いものの、履修率が低いため、本科目の意義を理解している学生は、学科の全学生の1割程度と推測される。授業オリエンテーションなどを通じた履修率の改善を望む。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は3.9～4.1、平均4.0であった。情報利用において、授業履修の際にシラバスの記載を参考にした割合が64%と、受講動機の「関心のある」と並び、ある程度高率であった。数少ない関心のある学生が、シラバスまでしっかり読んで履修している、という一連の行動パターンがうかがえる。</p> <p>図書館利用で、「インターネットのホームページを検索し、利用した」について、授業時間に全員が検索を行っているはずであるが、利用したと回答している割合は50%程度であった。より明示的にネット資料の検索を指示したい。また、質問の分類名が「図書館利用」となっているが、ネット資料は図書館と関係なく紛らわしいので、分類名を「資料利用」としてほしい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。在学中の他の授業や、就職活動、就職後の実務にまで影響する内容であるため、受講率が低いことが最も問題であるが、これはシラバスを訴求性の高い内容に改善するとともに、学科レベル、教務レベルでの対応に期待したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国の社会と文化	全学年	前期	選択	はい	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1年生から4年生までの総合人間科学の授業であるので、授業の最初に中国への理解や学習準備状況の確認アンケートを行い、不足の項目に△△を新たに加えた。</p> <p>②国際的視野に立って中国のことを幅広く学び、考えながら、異なる社会文化に触れていった。15回授業にそれぞれ異なる内容の勉強により、より深く異文化理解を促してもらった。</p> <p>③中国社会文化に関心を向上させるために、10回目にレポートを提出してもらっていた。</p> <p>④学習状況を確認するために15回目にテストを行い、学生の意欲を高めるためである。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したものは35名となった。</p> <p>目標別にみると、知識理解に関しては学生による授業評価においては授業の課題以外に具体的に取り組んで学習はPCで調べたり、学生のそれぞれの関心問題—中国の科学・教育などに関心問題を調べたりしたことが示された。これは学生が思考判断で何が問われているかを提出されたレポートは幅広い領域に亘った豊富な内容であった。但し、授業の課題以外に学習していない理由については「なにをすればいいか分からなかった」、「特にすることがなかった」などの自己評価が示された。これは、勉強に積極的、自覚していなかったことが考えられる。次年度に向けて明確に指示・指導しなければならないと反省点が考えられる。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は総合人間科学の科目であるが、総合的な視点と豊かな人間性を養うための教養教育科目の位置づけ、学習者の国際的社会文化を修得して国際的な視野を広げ、多様化、多様性を複眼的に備える人間の育成の内容的には妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量評価において、授業の課題以外に学習していない理由としては、配布された資料がしなかったから、何をすればいいか分からなかった。特にすることがなかった、等が挙げられた。次年度に向けては、まず学習量・範囲をより具体的に示したうえで、学習時間・学習量・方法を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総合人間科学にあたる本科目の位置づけから教養教育グローバル化社会に臨んでいる大学生としての教養を得ること。中国社会文化を学習すると同時に、関連する日本の社会文化などを理解してもらうこと。 以上から毎回の狙いを具体的に示すこと、可能な限り考える時間を取ること、復習課題を意識的に提出できるように、工夫を凝らしていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	後藤宇生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活と経済	全学年	前期	選択	はい	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>経済学は数学を使用するケースが多いが、この講義では、できるだけ、歴史や事例を多くして講義を行った。後半は、2012年度にノーベル経済学賞を受賞したロスとシャープレーの研究、マッチング理論の紹介を行った。より身近な話題と使いやすい道具を提供したいと考えている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	S: 37% A: 29% B: 10% C: 7% D: 15%					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>講義が中心であるが、できるだけ学生が参加できるように心掛けたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>今年度は、マクロ経済学と経済史を中心に講義を行った。後半に、マッチング理論の講義を行った。学生に聞いたところ、マッチング理論を好む学生が多かった。そのことから、今回は、ミクロ経済学の中心的なツールであるゲーム理論・マッチング理論・オークション・社会選択理論の講義を行う予定。それらの道具を使用して、現実的な経済環境や制度を分析したいと考えている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	福田達也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学概論	1	前期	選択	はい	

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生が板書をノートにきちんと書き留めるように、あえて配布資料・プリント等の厳選した。そのため、毎回のように講義に出席し、説明を漏らさずに聞いている学生と、講義中の説明等を聞いていなかったり、欠席が多い学生との間に、講義内容の理解に大きな差が生じたように感じた。以上により、学生の学習準備性については、講義の予習よりも毎回の授業の復習を行うという傾向が強いのではないかと推断する。受講動機については、ほとんどの学生が単位数の確保のためと回答しており、法学等に興味を抱いて履修する学生が少数であるので、今後は履修した上で法学に興味を持ってもらえるよう工夫を施していきたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		ほぼ達成された	ほぼ達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験の成績については、全体として高得点者が多く、上記の目標はほぼ達成できていると思われる。しかし、学生による授業評価によると、到達度自己評価の全ての項目において、多くの学生が③の「まあまあそうだと思う」および④の「わりにそうだと思う」を選択しており、試験の成績とは別に学生の授業内容の理解に努力が必要であると感じた。学習量の評価については、0時間と回答する学生が多いので、今後は授業時間内だけでなく授業時間外学習をしなければならぬよう工夫を施していきたい。さらに、授業時間外学習時間が少ないことと併せて、図書館やインターネットの活用についても、利用していないと回答する学生が多かったため、と同様に今後の課題としたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性については、ほぼ問題ないと思われる。法学は基本的には、まずは制度の内容や基礎理論の理解が重要であり、知識・理解の面が極めて重要であると考えられるためである。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進行方法については、現在のところは変更を検討していない。上記3においても触れているが、毎回授業の概要を示したプリントの配布をすることの意義については理解しているが、これにより授業の際の説明を不十分に聞いてしまう学生が発生するのではないかと危惧している。概要プリントがない分、毎回の授業の説明をきちんと聞いておかなければならないという意識を学生に持ってもらえたらと考えている。現在のところは、試験の全体的な成績を見てもわかるように、このスタイルである程度は理解が高まっているので、今後、全体的な成績がさがらうであれば、概要プリントの配布も検討していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>上記4においても触れているが、学生の授業時間外学習をいかに確保するかが今後の最重要課題と認識している。適宜、課題を課す等、積極的に取り組んでいきたい。また、就職活動に対する配慮や休講についての連絡等についても検討していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フランス語 I	全学年	前期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>志望動機によれば最も多かったものが「関心のある内容である」83.3%であり、初回授業の調査でほぼ全員がフランス語に初めて触れると回答したことから、未知の語学であるフランス語に対する興味・関心・期待の高さが伺えた。その他の志望動機は「単位数を確保する」50%、「友人が履修している」16.7%だった。初回授業のオリエンテーションでは、本年度から変更されたDPによる評価方法を配点も含めて提示し、授業に臨む心構えをするよう促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な成績の平均値は72点(±29点)であり、再試対象は0名だった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベルの80点以上に達したのは6人中1人(A評価)であった。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目はカリキュラムマップ上の「総合人間科学」の「国際社会と現代」であり、総合人間科学のCP「知識と教養を培い、総合的・分析的視点で問題を捉える能力を伸ばす科目」という観念に相違なく、学生は一定の成績を収めていることから、内容として妥当であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 DPの観点では、全般的評価に当たる「自分なりの目標を達成した」の質問に「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは83%であることから、内容として妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、おおむねどの項目も評価は高かった(平均値は3.3から4.0)。しかし「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」に6人中1人が「全くそうでないと思う」と回答していた。グループやペアで話し合って答えを導く協同学習を主体としていたので意外な回答だった。語学の授業は文法中心にするのか会話中心で行くのかという時間配分の難しさがつきまとうが、この回答はもっと会話練習したかった、コミュニケーションを取りたかったという思いの表れと推測する。</p> <p>インターネット利用について、教科書の各課の映像がWEBで公開されており、授業後に再視聴して復習するように促したが、実際に利用したのは1割以下だった。また授業の課題以外に学習に取り組んだのは50%であった。次年度に向けて、より効果的な教科書の選定を行い、自習に効果的な参考書やサイト、フランスに関する図書の紹介に努めたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総合人間科学のCPIに合致する協同学習の結果、高い自己評価が得られ、一定の成績を残すことができた。20人前後の少人数授業という特性を活かし、1人ひとりの問題に対応しつつ、今後も先生が一方的に「教える」のではなく、学生同士で「教え合う」授業スタイルを徹底させていくことが望ましい。また志望動機の調査で表れた「関心の高さ」を、半期を通して、その先もいかに持続させていくかにも留意したい。そのために授業外でもっとフランス語に触れられるよう、魅力的なコンテンツを利用させるなど、教科書だけにとどまらない学習方法を提示していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	金銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲル I	全学年	前期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○第二外国語として初級レベルの韓国語力をつけることを目標としている。開講後に行ったアンケートで(学校で実施する授業評価ではなく、別個に実施)「新しい言語に触れてみたい」や「今後の仕事に生かせそうだから」、「韓国旅行の際便利そう」などの積極性が見られる受講動機がある中「単位が欲しいから」との返答もなるなど、学生間の温度差があることが分かった。</p> <p>○受講姿勢に差がある50を超える受講生全員が興味と持つように“楽しい”授業を目指した。学生が興味を持ちそうな韓国事情や毎年好評のK-popなどを授業に取り入れ最後の授業まで韓国語への興味が持続するように勤めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>登録のみで授業に出なかった4名を除いた49名の成績平均は79.285で理想的レベルに近づけることができた。残念ながら再試対象者が6名出たが、再試に応じた学生は全員落第することはなかった。</p> <p>授業評価における到達度自己評価でも全設問満足度が高いという嬉しい結果となった。中でも「学びを深めたいと意欲を持つことができた」や「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の設問に特に高い満足度が見られ、講義が重点を置いている点と学生の満足とが一致する結果が得られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ると内容的妥当性試験の結果で見られるように、第二外国語として目標とていた成果を挙げられたので内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p>DP 授業中学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価では授業で取り上げる機会が少なかった項目以外は高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。</p> <p>まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>初級という授業の特徴上、学生間のやり取りが難しいが、なんとか授業に取り入れる方法を考えたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>第二外国語として学習歴のない学生を対象に、基本となる話す・聞く・書く・読む力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことにより次の「ハングルⅡ」に進むに不足しない実力がついたと思われる。そして語学以外に“韓国”そのものに興味を持つ学生が増えて、狙って以上の成果を挙げられた。来年度も引き続き学生と関連のある韓国の話題を取り入れながらよい成果を挙げたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	篠原征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語 I	1	前期	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は中国語の基礎知識を学習するものである。初心者にとって外国語は難しい、とくに発音の難しい中国語は挫折しやすい。授業の実施にあたり大切にすることは学習者により学習習慣を身に付けさせ、楽しく学ばせることである。今回の受講動機をみると「関心のある内容である」が63%と3分の2にとどまっていた、そのほか「単位数を確保する」が52%、「友人が履修している」が10%などである。授業ではちょっとハードな発音練習のあと、中国の文化や風習、最新事情なども紹介したりして、学習者のモチベーションを高め、関心を引き付けるようにしている。</p> <p>②開講時に学習目標についてのアンケートを行った。アンケートに書かれた目標を分類整理した後プリントにして、受講者に配布し、学習効果確認に使用した。</p> <p>③各課確認テストを行い、その結果を「学習状況記録表」に記入させ、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。</p> <p>④各課学習したあと、「コミュニケーション中国語」のリストを作成させ、モチベーションを高めるようにし、次のステップへ進む準備をさせた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は87点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的なレベル(おおむね85点以上として試験を作成)に足したものは36名で、全体の3分の2である。教育目標はおおむね達成されたと言える。</p> <p>学生による到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は3.9、中央値は4.0で、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値と中央値は共に4.0となっていることから教育目標はおおむね達成されたことを示している。</p> <p>来年度は授業外での学習ツール、学習方法を積極的に紹介し、自発的学習への後押しを進めたい。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性 本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目――中国語通訳ガイド演習や観光中国語など」の基礎となる重要な位置にある。しかし、受講者は「中国語通訳ガイド演習」や「観光中国語」を受講するつもりのある学生ばかりではない、受講動機は「単位数を確保する」、「友人が履修している」などもあり、動機付けに苦慮する面もある。この課題に応えるように工夫し、学生も一定の成績を取っていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 「成績評価」と「学習到達度の自己評価」(「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」)の項目の平均値は3.9、中央値は4.0であり、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の項目の平均値と中央値が共に4.0である)から見て、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「学習量の評価」に関して、「授業の課題以外に学習していない理由」として「何をすればいいかわからなかったため」、「見つからなかったため」などがあつた。今年度は授業以外の学習について口頭のみで紹介したことは反省点である。来年度は口頭で説明するとともにプリント配布などして周知するようにしたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>「総合人間科学」の一科目として、それから「専門教育科目—中国語通訳ガイド演習及び観光中国語」を受講するに必要な予備知識としての本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できた。 昨年に比べて期末テキストの平均点数が上がった点は評価できる。 授業以外の学習方法の指導に関しての不足点は、プリント配布などして、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	末廣幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
時事英語入門		前期	選択	いいえ	55

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教科書は英字新聞の読み方に特化したものを使用した。特に英字新聞特有の文法の解説とこの文法を使用したヘッドライン及びリードの和訳を行った。②教科書で取り上げられた時事英語で汎用される単語及び語彙の指導を行った。③教科書とは別に英字新聞特有の文法をまとめたプリントを配布し、時事英語を読む際のハンドブックとして使用するよう指導した。④実際の英語ニュースを視聴し、リードのパートの部分訳を毎回行った。⑤日本の観光に関する記事で使用する語彙を取り上げ、解説および和訳を毎回行った。⑥時事英語は背景となるニュースに関する知識が重要であることから、図書館の利用や新聞、テレビ、PC等で情報を収集するよう指導した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>成績の平均値は85点で、再試対象者は0名であった。特に標準偏差度数はSとAに集中し、高得点者が多かった。このことから授業内容に関する理解度は高かったと考えられる。しかし、学期末の試験結果に反し、到達度自己評価は平均値に集中し、特に「コミュニケーション力や表現力を高める」と「職業選択の参考になった」項目では低い評価を付ける学生が全体のおよそ5分の1を占めていた。科目の性格上、アウトプットよりインプットに重点を置いた結果だと考えられるが、ニュースを中心に取上げたことで、学生の興味にばらつきがあり低下したとも考えられる。全体的に学生はより身近な話題に興味を示す傾向があるため、ニュース等で国内外の事象に関心を持つよう指導をしたつもりであったが、図書館等の利用者数が低く、違った切り口で学生の興味を誘導する必要性を感じた。さらに、語学の授業としては受講者数も多く、学生への質疑応答の機会が限られたこともこの要因の一つと考えられる。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性: 英字新聞の基本構造への理解を深めることにより、学習を通して英語で時事的な話題に対する理解、関心、興味を深めることができる事を目標に授業を進めた。これはCPの「学びと現代社会・関係諸領域との関係を理解する」目的と内容的に妥当性があると考えられる。②DP,行動目標からみての内容的妥当性: DPでの「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」は比較的平均値が高い一方、「学びを深めた」という評価はこれに比較して低かった。この点から、学生の国内外における事象に対する関心の低さが推測できる。時事英語の教材としては、硬軟取り混ぜて使用することに努めているが、学生の興味を誘導を更に身近な話題から始める必要性を感じた。またDPの「的確に判断する力を得ることができた」は期待以下の数字となり、英字新聞特有のルール等を更に具体的に指導する必要があると感じた。しかし、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」では比較的高い評価を示していることから本科目の目的に合っているとい判断し、内容的妥当性には問題がないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価:「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が与えられていた」の評価は高く評価する学生と低く評価する学生に大きく分かれていた。大人数の語学授業にも関わらず、和訳や練習問題の解答など学生に参加する機会を稼いで作った結果が数字に表れていると思われる。しかし大人数の中での学生の発表は声の大きさに左右され、一部の学生には聞き取りづらく、教員が復唱する結果となり、授業中での発表機会が少ないと感じた学生がいた可能性もある。②学習量の評価:授業に参加するための予習、復唱をしなかった学生が半数以上であることから、授業中での復習を兼ねた小テストやレポートの提出を検討している。③学修のための情報利用、図書館利用: シラバスを参考にした学生は約半数であり、選択科目として単位数を確保するためと答えた学生数とほぼ一致することから、本科目に対する関心と単位数の確保のための学生と二分された結果となった。オリエンテーションでの本科目の目的と内容に関する情報を確実に伝える必要性を強く感じた。図書館利用に関しては時事英語入門の科目としては、利用者数が皆無に等しく、国内外の事象を学習する観点から、情報収集が学習内容の一つであることを指導する必要があると感じた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>時事英語入門という位置付けから、英字新聞や英語ニュースに汎用される文法、語彙の習得は概ね達成できたと考えられる。但し、選択科目は単位数を確保する目的で受講する学生が多い中、本科目は受講動機で約半数の学生が関心のある内容であることから選択している。このことを踏まえて、オリエンテーションで授業の情報を的確に伝え、語学知識を広めるだけでなく、国内外の事象に対する関心を深めるために情報利用や図書館利用を行うことを義務付ける改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中級中国語	2	前期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>中級中国語はすぐに役立つ生活場面の会話を学習する。入門・初級中国語で学んだ基礎知識を復習しながら、口語文を中心に進む、また基礎的な中国語の総合的な能力を高めるために、できるだけ会話の練習をしてもらう。学習者の自信を引き付けるようにしてきている。さらに文法の理解を確認するために、中国語で日記を書いてもらったり、長文を作ってもらったりしていた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したものの7名となった。目標別にみると、知識理解・技能表現に関して85%であった。学生による授業評価においては、①授業の課題以外に学習していない理由としては授業の中だけで十分だったから。授業のことだけで精いっぱいだったから。②授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習としては、よくノートを見る、などを挙げられる。近年中国語の検定試験を受ける学生が減少しているが、次年度に受験できるような体勢を整えていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけから見て、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の評価においては「いつも楽しく授業が受けれました」、「とてもわかりやすく楽しい授業でした」、「とても丁寧に教えてくれたので助かりました」などがあつたが、学習者の発表時間が想定より少なかったことも反省点である。次年度に向けては学習者に積極的に授業に参加するよう工夫を凝らしていきたい。また欠席常習者が欠席しないように指導を加えたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>基礎的な知識だけでなく応用能力を高めるために毎回の狙いを具体的に示すこと、可能な限り会話練習を取ること、じっくり文法の消化を加える時間がなかったため、授業中に練習時間と予習課題の提示などで改善を図る。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	飯田 一郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光社会学			選択		60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		○	○		

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前回の授業内容を確認するために授業の始めにレポートを学生に書かせた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>一定量の文章を論理的に書かせることで思考力が涵養されたと思う。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

アメリカの大学で使用している英文テキストを使用したので、文科省が推進しているグローバル化に即した授業ができたと思う。

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	若菜啓孝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コンピュータ文書 I	全学年	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1, 2年生で習得した「WORD」「Excel」の操作技術を利用し、ビジネスに必要な文書作成能力を高める目標で、授業を展開し、資格試験合格を目指すための演習を数多く取り入れる。</p> <p>②昨年までと同様にe-learningシステムを活用し、課題提出を厳格にした。</p> <p>③資格試験の中で、日商系の試験は知識項目分野の試験も含まれることから、8回ほどにわたり、授業前半では関連項目の講義を取り入れた。</p> <p>④上記においては、e-learningシステムに模擬問題を配置し、授業外学習に役立てた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①平均値は75点、再試対象1名であった。</p> <p>②e-learningシステムの模擬問題(知識分野)にまじめに取り組んだ学生は、試験期間に実施した試験でも高得点をあげている。</p> <p>③提出物に関しては、提出日、注意事項(提出ファイル名、ファイル形式、内容)で点数をつけていったが、指定された形式で出さない学生もいて、さらに、その学生は、前項の取り組みもよくない状態で、Cのランクは10名であり、全体的な平均を下げている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、予め、各アプリケーションの操作ができることを前提とした科目となっており、内容的には妥当である。ただし、学生自身がカリキュラムマップ自体を理解していないため単なる単位取得のために受講した者もいる。1, 2年次の「情報リテラシー」「情報科学演習」に関しては、前もった受講が必須である。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の進め方においては、毎回システム上で行ったリフレクションを参考にし、授業速度について留意した。しかしながら、この授業を受講するための前提条件をあまり満たしていない学生にとっては、進行速度はやや早めと回答していることが伺える。 ②今回、レポートの提出状況を自分で把握できる様に、システムを改善したが、学生らにとっては「自己調整学習」のひとつとしても「自己管理能力」についても、いい取組だったと言える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>科目の位置づけからも、1、2年次の情報系科目の受講が必須と考えられる。そのためには、学生へのカリキュラムマップの読み解き方などの教育が必要である。次年度より、本科目は不開講であるため特に、1、2年次の情報系科目の受講は非常に重要となる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	末廣幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネス英語		前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教科書はビジネスシーンにおける会話を中心としたものを選択し、職場で頻用される言い回しを会得することを目的にした。授業中に学生はペアで会話練習を行い、その後、確認の小テストを行った。②教科書の練習問題はTOEIC形式になっており、資格試験にも対応できるようにした。③ビジネスレター形式を習得し、特に英文Eメールの和訳やビジネスレター特有の言い回しなどを学習できるように練習問題を行った。④DVDを使用し、実際のビジネスシーンを再現し、クエスチョンタイムで学生自身で英会話の応答の台詞を考えさせた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は82点であり、再試対象者は0名であった。全員が標準的レベル以上に達したと思われる。講義内容に関しては、DPの「自分なりの目標の達成、知識の確認、修正、新たに得る」に高く評価しているために学生が楽しみながらビジネスシーンにおける英会話の練習に取り組んだことが確認できる。その他のDP項目に関して、「専門分野での意欲」や「技術の項目」で評価の低い学生がいた。これは学生が考えたビジネス英語の学習とは内容的な相違があったか、授業中に行った確認のための小テストの多さを負担と感じる学生がいた可能性がある。また標準偏差の度数から、3年生はS、Aに集中しているが、Cには4年生が集中していた。4年生は就職活動で欠席する学生が多く、授業に集中できなかった可能性も考えられる。来期の授業計画の改善点として参考にする必要があると考えた。さらにオリエンテーションでの本科目に関する情報を確実に伝えし、選択するように指導する必要性があると考えた。さらに自己評価において、「自分なりの目標の達成」と「専門分野で必要となる技術を身につける」を高く評価した学生が多かったのは、授業中での会話練習やビジネスシーンでの問答を学生主体で行わせたことがこの評価につながったと考えられる。但し、就職活動で休みの多かった4年生の一部の学生にとっては「コミュニケーション力や表現力を高める」項目での評価が低くなり裏目に出る結果となった。</p>
---	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPマップ上の位置づけからみた内容的妥当性: CPマップ上の位置づけからみた内容として、ビジネス英語をスピーキング、リーディング、ライティング、リスニングの各方面から取り組み、有用性の高い単語や表現を習得することから、ビジネスの専門科目の体系的学習を可能にしていると考えられる。従って、内容的に妥当性があると考えられる。②DP, 行動目標からみた内容的妥当性: スピーキング・アクティビティ中心にビジネス英語におけるコミュニケーションスキルを習得し、英文ビジネスレター、メールの作成などを本科目の目的とした。特に学生が確実に習得できるように授業中に数種類の小テストを行い、確認を促した。その結果、授業の質評価の平均値は概ね高く、学生にとっても納得できる授業内容とレベルであったと考えられる。以上のことから内容的妥当性には問題がないと思われる。但し、DPIにおける「専門分野における技術の習得」「職業選択の参考」の項目において、低い評価をした学生がいたことから、授業内容の見直しが必要であると考えられた。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①授業の質評価：各項目とも約7割の学生が高い評価を示していた。これは授業中に行ったスピーキング、ライティング等の学習内容をその場で確実に習得する作業に取り組んだ結果と思われる。②学習量の評価：予習復習を全く行っていなかった。これはテキスト内容の会話練習の多さとTOEIC形式の練習問題によるものかと考えられるが、改善すべき問題点として取り組む必要性を強く感じた。③学修のための情報利用、図書館利用：シラバスを参考にした学生は約8割弱に上り、本科目の情報を事前に得ていたが、図書館利用者は0名であった。単位数の確保を目的に挙げた学生が多いことから、この数字になったと考えられるが、ビジネスの領域において幅広い理解と知識を身につけるという観点からすると問題があると考えられる。情報利用の必要性を学生に指導する必要性を強く感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

教科書の内容を確実に身に付けるために、難易度は中程度のものを採用した。また就職活動で忙しい4年生がクラスの半数を占めたために、基本的に課題は出さずに、授業での学習に重点を置いた。そのため学習量の評価や図書館利用など自己学習が全く見られなかった。この点は来期への改善点として捉え、授業内容およびレベルの見直し、さらには復習テストおよび中間テストの導入を検討している。

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	木沢誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光関連法規	1	前期	選択	いいえ	65

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策であるため、その合格を目的とした。しかし、1年次配当であるため難解な法律用語になじめず、とても合格を目指すレベルの基礎学力がない学生も多い。また、例えば看護師資格などことなり、目指す職業にはかならずしも必須資格ではなく、履修途中でその難解さに、合格を諦める学生も少なくない。そのため、シラバスで示した「達成目安」を「標準レベル」に置き、単位を取得できるレベルに落とさざるを得ない状況も出てくる。一方では、本気で合格を目指す学生もあり、「達成目安」の「理想レベル」の授業も求められている。そのため、合格を目指す学生には「夏休み特講」の受講を勧めつつ、通常授業では「標準レベル」の内容とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験を目指す授業であることから、ほぼ隔週で小テストを実施した。その平均点で成績評価をする(60点で単位認定)こととした。結果は、出席数を満たした学生は全員単位取得できた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策授業であることから、DP1「知識・理解」をその評価基準とすることで問題ない。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>国家試験対策テキストを使用、ほぼ隔週で小テストを繰り返したため、学生アンケートによれば、予習、復習に割いた時間は他の授業より多い。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>国家試験対策授業ではあるが、そのめざす資格の職業的重要性や評価があいまいであり、学生のモチベーション持続からは難しい側面がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理	全学年	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「単位数を確保する」50%、「関心のある内容である」50%となっております。学生の関心を引き出し、多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト(レポート作成と発表)を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>	履修してもら
---	---	--------

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は89点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。目標別に見ると、知識理解に関しては50%、意欲関心に関する問題は50%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。図書館、インターネットの利用に関しては、いずれも、50%未満で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化地理」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が3.3と低かった。次年度に向けては、学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	須藤秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際ビジネス論	3	前期	選択	はい	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○		

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>貿易、投資など国際ビジネスの諸事象の実務的な仕組みを理解させること、最新の動向に関する情報を提供し理解させることに重きを置いた。また、よく使われる用語も多く説明し、理解してもらるように努めた。就職活動でも役立ててもらいたいとの狙いもある。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>・授業評価において、「知識を新たに得ることができた」が(英語学科)2.7、(観光文化学科)3.3、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」が(英)2.8、(観)3.1、以上から「知識理解」を上記とした。「学ぼうとしている専門分野において判断する力を得ることができた」については、(英)2.4、(観)2.9、ここから思考判断を上記の通りとした。「学びを深めたいと意欲」については、(英)2.6、(観)3.0であることから、「意欲関心」を上記とした。</p> <p>・上記の諸事項、および「自分なりの目標を達成」について、(英)2.7、(観)3.0であることから、より履修人数の多い観光文化の学生の見方に比重をおき、「全体」については上記の通りとした。</p> <p>・なお、上記の「自己評価」の各項目では、観光文化の学生の方が英語学科の学生より高い数値を示しているが、これは観光文化の学生の方がより主体的に学ぶ姿勢をもって履修したことにより負の部分が多いと思われる。それは、受講動機が、「関心のある内容」であるから受講は、英語8.3%<観光22.2%、「友人が履修している」から受講は、英語16.6%>観光8.3%に示される。期末試験の成績も、受講動機に影響された模様にて、(英語学科平均)68.9点、(観光文化平均)72.8点と若干差が出ている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・人文学部と両学科のDPIにて、「社会科学の特定の専門分野における基礎的知識と運用能力」、「社会科学の特定の学問領域において、的確な考察および判断」、「国際的視野」「現代社会の諸問題」「ビジネスの領域についての幅広い理解と知識」「現代社会の実態を学際的な視点でとらえる能力」等が言及されているが、本科目はこれらのDP実現に資すると考える。この点、および学生が一定の成績を収めていることから、内容的にはほぼ妥当と史料する。但し、本科目より後期「多国籍企業」の方が難しくなく面白いとの学生の見方があり、国際ビジネスの基礎的な諸事項を扱う本科目でも、学生にとって馴染みのある企業の実例をもう少し多く扱うなど、学生にとってもっととつき易いものにする工夫が必要かもしれない。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・進め方については、授業中に学生をもっと多く指して、やりとりを通して学生の理解を確認しながら丁寧に説明することを心掛けたい。また、大事な箇所では、話すスピードを落とすなど改善したい。・学生の意見「パワーポイントの字が小さくて見えなかった」には、パワーポイント画面というより、ワードのテキストのページを映写していたからであろう。文字のズームを1.3倍程度に大きく示してはいる。また、今教材の何々ページの中ほどなどと言い、手元教材も見るように伝えている。学生への注文としては、もっと前に来て座ってほしいところである。「プリントが見えにくい、どこが大事か分かりにくい、今何を勉強しているのか分かりにくいことがあったので、ポイントをしばってほしい」については、「ここ大事と時々言うことを聞き逃さないでほしいが、それを励行して、学生の理解を確認しながら進めることに努めたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>課題は分かり易い説明の強化であろう。理解を高めて、期末試験では平均70点台後半となるよう、例えば外国為替取引など基本的事項についての理解が向上し確実なものとなるよう、丁寧な指導を強化していきたい。ビジネスする上でのリスクなど、学生にとってあまりピンとこない事項も多いと思われるので、時間を十分とって、理解を確実なものにするよう指導したい。それによって学生の本科目受講の満足度も高まるように努めたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	飯田 一郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光英語			選択		50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○		○		○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の予習のために次回の講義内容に関する英語語彙関連テストを毎時限実施した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎時限の小テストの平均が70点だった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

主に観光英語のリスニングを行ったので観光英語に関する学生のリスニング能力が向上した。

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	神崎明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日中文化交流論	3	前期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①、専門基幹科目にあたる日中文化交流論は日本と中国との一層の相互理解・共存共栄が叫ばれる今日、二千年に亘る文化交流史を振りかえってみることは現代的要請に答える科目であると思う。新たな文化交流の使者を培うことが本科目の狙いである。授業時にできるだけ具体的な実例、具体的な先駆者を挙げて関心を引き付けるようにしてきている。</p> <p>②昨年度までと同様、授業の最初に学習準備状況の確認、アンケートを行った。</p> <p>③10コマ目にレポートの提出を行い、学習者の勉強への意識を高め、学習理解、関心などを確認するようになった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は83点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは28名となった。学習者による授業評価においては「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目は100%となり、これは知識理解の観点での自己評価が高いことが示された。但し、「授業中に自分の意見のまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目の平均値は2.7しかなかった。今後授業の方法を更に検討を進めたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性について、本科目は専門基幹科目であり、今日のグローバル化社会において日中文化交流の歴史を修得し、新たな文化交流使者になるための教養教育科目から、内容的妥当性には問題がないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均は2.7と低かった。事例を取り上げて講義をしたが、学習者にじっくり考えてもらう時間は十分にとることができなかった。学習者に授業に発言の機会を与えられなかったことを反省している。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>次年度は日中文化交流論という科目が廃止され、本当に残念である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光中国語	3	前期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「単位数を確保する」87%、「関心のある内容である」17.4%となっており、履修者が「観光中国語」を勉強するメリットについて、まだ実感できていないことが分かる。「観光中国語」を勉強するメリットについての説明を行う必要があると思われる</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③授業の7回目に小テスト(会話文章の作成と発表)を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された			やや達成された	やや達成された

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84.7点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、技術表現に関しては82.6%、意欲関心に関する問題は69.5%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、意欲関心、技術表現、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館、インターネットの利用に関しては、前者は、8.6%で、後者は17.3%となっているが、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>
--	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から意欲関心、技術表現、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光中国語」であるが、観光産業の就職をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生が積極的に参加する機会・環境を作っていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>観光産業の就職をつなぐ要の位置にある「観光中国語」の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の意欲関心、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	金銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光ハンゲル	全学年	前期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○「ハンゲル1、2」の上級クラスとして旅行会社などでのインバウンド・アウトバウンド業務をこなせる語学力を身につけることを目標にしている。しかし学生たちはシラバスを熟知しておらず韓国語学歴がない学生が半分近くいることが開講後に判明した。開講後実施したアンケートで(学校で実施する授業評価ではなく、別個に実施)「新しい言語に触れてみたい」や「韓国旅行の際便利そう」など積極的な意見が多く学習意欲が見えたので、多少の方向転換を加えることになった。</p> <p>○「ハンゲル1、2」を受講した学生と全くの初心者が混在するクラスだったため文法説明は極力控え、文型を用いるスピーキングとヒアリングに重点を置いて授業を進めた。また毎時間テストを行い、反復練習に力を入れた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>定期試験ではインバウンド業務を想定した面接試験を行った。全員がヒアリング力があり、韓国語で適切に答えることができたため85点以上の成績を取めることができた。</p> <p>授業評価における到達度自己評価でも全設問満足度が高いという嬉しい結果となった。中でも「学びを深めたいと意欲を持つことができた」や「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の設問に特に高い満足度が見られ、講義が重点を置いている点と学生の満足とが一致する結果が得られた。また「専門分野においてさまざまな課題を検討する力を得ることができた」や「専門分野において的確に判断する力を得ることができた」でも高い満足度が見られたことから、多少の方向転換はあったものの本来の目標を達成することできた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ると内容的妥当性試験の結果で見られるように想定していた成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p>DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価では授業で取り上げる機会が少なかった項目以外は高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。</p> <p>まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今後もシラバスを読まずに履修登録をする学生が予想されるのでもっと柔軟に対応できるように策を考えたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>インバウンド・アウトバウンド業務をこなすという具体的な場面を想定した語学クラスで話す・聞く力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことによりすぐにも仕事で使える実力がついたと思われる。来年度も引き続きよい結果を出せるようがんばりたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	岩井 朝子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語通訳ガイド演習 I	3	前期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	① 授業の中で学んだ表現を、その日の授業の中で暗記し完結してもらうように努めた。 ② 毎回小テストをして、学生への意識を高め、学習状況を確認するようにした。 ③ 予習の大切さを伝えて、授業が復習の形になるように伝えた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
						やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	小テストの結果から後半は特に高得点が見られた。予習に関しては、小テストに対しての準備はできている学生が多かったが、長文読解や英作文になると、ほとんど準備せずに授業を受けている学生が見られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	① 単位取得が目的で受講する学生が多く、国家試験合格という高いモチベーションを持っている学生が少ない。授業内容は、国家試験の問題に対応したもので、小テストも一定の成績を取めているので、内容的には妥当だと言えるが、動機付けが難しい。 ② 席指定について、指定以外の場所に座っている学生に注意して欲しいということですが、誰が違った場所に座っているかわかりませんし、常識の範囲内で行動していただきたい。 ③ 小テストですが、準備をきちんとできていた学生、聴講生はコンスタントにほぼ満点に近い高得点をとっていました。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>聴講生と学生のモチベーションの差が大きく、どの辺に基準を持って行けば良いのか難しかった。ガイドの体験を話しても、興味のない学生には、響いていかない。 聴講生と学生の切磋琢磨が見られたが、授業に参加するための準備(30分以上)をほとんどして来ない学生が多いのは問題だと思う。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>評価につながるものに対する予習とそうでないものに対する予習内容が違い、授業が答えの書き写しになっている学生がいる。ペアで検討するなどチーム学習を取り入れてきたが、さらに改善して授業内での発言を促し、授業に貢献できる態度を評価するようにしていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	飯田 一郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語通訳ガイド演習 I			選択		45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○			○	

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「日本事象300選」の和文英訳小テストを毎時限行った。ムーブ(北九州市男女共同参画センター)との共催で当講座への社会人の参加を促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>DVDの英語による日本事象の説明は学生のリスニング能力を向上させた。国家試験「通訳案内士」の過去問に学生をチャレンジさせたことは学生の学習意欲につながった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>ムーブ(北九州市男女共同参画センター)との共催で当講座を社会人に開放して、15名の参加があった。意欲のある社会人と席を同じにすることによって学生には学習への意欲向上につながった。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	岩井 朝子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語通訳ガイド演習Ⅲ	4	前期	選択	いいえ	4

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 通訳ガイドの実践的な状況を設定して、英語で説明してもらうようにした。 ② 英語の暗記だけでなく、「ツアーを自分たちで計画してもらい、お客様を想定したガイディングを検討することによって、興味を持ってもらおうとした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
						やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の達成度自己評価において示された通り。また、プレゼンテーションにおいても、発表が増えるごとに英語技術の向上が見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験を受けない学生が多く、動機付けが難しい。学生は一定の成績を収めているので、内容的には妥当だと言えるが、学生がどれだけ必要性を感じているかは疑問。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>受講生が少なく、また就職活動と重なって、学生全員が揃うことがほとんどなく、授業の進行が思うように進まなかった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>英語ガイド演習Ⅰ、Ⅱを3年生で学び、国家試験に向けて集大成となる演習Ⅲですが、受講生が少ないのはとても残念です。国家試験取得という目標だけでなく、外国人に日本のことを紹介する楽しさを伝え、英語に興味を持ってもらえればと思います。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語通訳ガイド演習Ⅲ	4	前期	選択	いいえ	3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
			×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は英語通訳ガイドの資格を取得するのが第一の目的である。その一方で、これまでの経験上、受講生全員がそうした目的意識をもって履修しているわけではないこともわかっており、むしろ、通訳という分野そのものに関心をもって受講したという学生が大半だった。そうした点をふまえて、本年度も開講日に学生にヒアリングを実施し、これまでと同様の回答を得ていたため、通訳ガイドになるためのさまざまなトレーニングを総合的な英語力向上に応用するという授業展開を試みた。あわせて、通訳という職業に求められる資質などにも言及することで、学生のキャリア形成の一助になるような授業を行った。また人数が少ない授業環境だったため、個々の学生と対話する時間をできるだけ多くとることで、他の授業よりもより双方向性の高い授業を意識的に毎回行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
				達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>前述のように、受講人数が非常に少なかったため、学生ひとりひとりの学習意欲や技能を毎回確認することができた。その成果は確実に評価項目に反映されており、授業に対する学生の真摯な態度や熱心な学習意欲の賜物であると考えられる。具体的な数値として、各評価項目の平均スコアを列挙したい。授業貢献度(配点:20)が16.2(受講生全員が4年生であったため、就職活動で1～2回欠席が散見されたが、全体の学習パフォーマンスに影響を及ぼすほど深刻なものでなかった)、復習テスト(配点:15×2回実施で30)は、1回目が10.3、2回目が5.5(2回目の平均点が低いのは、当日就職活動の面接等で欠席した者がいたため)、定期試験(配点:50)が、35.5点という結果で、これらを総合した最終的な全体の平均点は84という高い数値となった。以上の数値データにより、本科目の教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>英語通訳ガイドを含めた通訳という職業(会議通訳者、放送通訳者、同時通訳者、ボランティア通訳者など)は、言語という技術を駆使する専門職である。したがって、ある程度の英語力が備わっていることが前提で、その技術を現場で瞬時に最大限活用できるかどうかで仕事の評価が決まる。よって、DP5が示す技術表現と本科目は最も重要な接点であるといえる。学生の到達度自己評価において、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、について全員が「そうだと思う」を選んでいる点から、内容的妥当性は確保されていると思われる。また、DP3の内容関心についても、授業評価における受講動機で、③関心のある内容を全員が選択していることから、本科目の位置づけ上内容的に妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生からの自由記述で、「少人数であったこともあり、理解度が高かった。どの英語の授業よりも知識が多く得られた」があった。この点は非常に望ましいことではあるが、より受講人数が多いとペアワークやグループワークや通訳デモンストレーション(スピーカーと通訳者という設定でのロールプレイ、いわゆる模擬通訳)など、さらに発展的なトレーニングが導入可能になる。受講者数とそれにマッチした授業展開をいかにバランスよくとっていかかが、今後の課題といえる。知識が多く得られたというコメントについては、通訳者に求められる語学力以外の資質について、授業中に度々言及したことが影響したと思われる。通訳の現場では、通訳する内容に関することは当然だが、決してそれだけに留まらない。通訳者は専門職であると同時に、サービス業でもあると考えている。よって語学だけが必要ということではない。こうした点に対しても学生が興味・関心を示した結果、そうしたコメントにつながったのではないかとと思われる。この点に関しては、学生のキャリア形成との関係上、継続して行っていきたいと考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>教育目標、内容的妥当性などの点では、概ね望ましい結果が得られている。しかしそれらは、これまで比較的少人数のクラス構成であったがために達成できたのかもしれない。今後の履修状況にもよるが、受講者が増加した場合は、これまでとはちがう授業アプローチが求められる。また、英語通訳ガイドという資格を取得するという目標達成のために受講する学生も当然存在するであろう。そうした点もふまえて、ガイド試験の傾向と対策、学生の受講動機の把握、ニーズ分析などを的確に行いたい。またタームの途中で、授業に関するコメントを求め、寄せられた指摘・要望については適宜修正・調整を行いながら、満足度の高い授業を展開していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	篠原征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習 I	3	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は中国語通訳ガイドの基礎知識を学習するものである。通訳ガイドにおいて、最も重要なのは言葉の「心」を訳すことであると考えている。授業の実施にあたり大切にしていたことは学習者に中国と日本の文化、習慣、考え方などの違いを理解してもらい、正しく言葉の心を訳す練習であった。</p> <p>②開講時に学生の学習準備性を確認し、中国語の発音、基礎文法などの復習を行った。</p> <p>③通訳ガイドは「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」、「翻訳する」の5つの能力を必要とする総合技能であるため、授業の実施にあたり、それぞれバランスよく向上できるように工夫した。</p> <p>④演習発表を録画して、学習状況を確認し、学習への意識を高めるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は79点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的なレベル(おおむね80点以上として試験を作成)に達した学生は4名と、まだまだ限られていた。</p> <p>学生による到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値と中央値はいずれも4.0、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値と中央値は共に3.5であった。2つの項目に差があったということは知識は概ね理解しているが、表現することはまだ難しいと考える。コミュニケーション力や表現力をより効果的にアップさせる方法について、次年度に向けて検討したい。</p> <p>今年度は教室で学習したため、より多くの学習方法を取り入れることはできなかった、次年度は図書館、インターネット利用も視野に入れたい。</p>
--	---

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性 本科目は、観光文化学科の「専門教育科目」の基礎となる重要な位置にある。受講者は将来「中国語通訳ガイド」の仕事に就きたい学生ばかりではない、受講動機は「単位数を確保する」などもあり、動機付けに苦慮する面もある。この課題に応えるように工夫し、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容の妥当性 「成績評価」と「学習到達度の自己評価」(「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の項目の平均値と中央値はともに4.0、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の項目の平均値と中央値が共に3.5である)から見て、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>コミュニケーション力と表現力をもっと高めるためには、授業中にもっと練習に時間を費やすよう検討を進めたい。 「学習量の評価」に関して、授業の課題以外に学習に取り組んでいない学生は3分の2を占めた。今年度は授業以外の学習について口頭のみで紹介したことは反省点である。来年度は口頭で説明するとともにプリント配布などして周知するようにしたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>「専門教育科目」の入り口にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できた。 授業以外の学習方法の指導に関する不足点は、プリント配布などして、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	神崎明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習 I	3	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門展開科目にあたる中国語通訳ガイド演習 I は、観光文化学科における教育の骨格となる分野の修得を深める科目である。中国語通訳ガイドの力の養成に重点を置く。具体的には中国語通訳の基本的技術を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力、翻訳技能の養成を目指した科目である。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、78点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね85点以上として、試験を作成)に達したのは3名となった。学習による授業評価においては、①授業の課題以外に学習していない理由としては、必要性を感じなかった。「コミュニケーション力や表現力は高められた。」「平均2.9と低かった。これは教科書がやや難しいことが反映されたことであった。次年度に教科書の選定を見直す必要があると思う。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについてマップ上の位置づけから見て、本科目は専門展開科目であり、中国語の通訳案内士などの資格試験に対応する科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるから、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「説明は理解しやすいものであった」の平均3.7とやや低かった。教科書がやや難しいことや、復習予習の時間が想定より少なかったことが原因であると思われる。次年度に向けて教科書の選定を見直したうえで、学生に事前に予習、授業後の復習を徹底するように促したい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>専門展開科目にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、表現技術の面では、課題を残した。じっくり復習時間が少なかったため、復習課題の提示などで改善を図りたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	神崎明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習Ⅲ	4	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○		○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門展開科目にあたる中国語通訳ガイド演習Ⅲは、観光文化学科における教育の骨格となる分野の修得を深める科目である。中国語通訳ガイドの力の養成に重点を置く。具体的には中国語通訳の基本的技術を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力、翻訳技能の養成を目指した科目である。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、90点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベルに達したのは全員となった。学習による授業評価においては、①授業の課題以外に学習していない理由としては、必要性を感じなかった。「コミュニケーション力や表現力は高めることができた。」の平均4、4と高かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについてマップ上の位置づけから見て、本科目は専門展開科目であり、中国語の通訳案内士などの資格試験に対応する科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるから、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均4, 3と、「説明は理解しやすいものであった」の平均4, 6となった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>専門展開科目にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、表現技術の面では、課題を残した。じっくり復習時間が少なかつたため、復習課題の提示などで改善を図りたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習Ⅲ	4	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「関心のある内容である」71.4%、「単位数を確保する」42.9%となっております。履修者が「中国語通訳ガイド演習Ⅲ」では、今まで取得した中国語を活かしてもっと勉強したいという気持ちが見られる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③授業中に翻訳と発表を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は94点であり、再試験対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解、意欲関心、技能表現、態度に関しては、57%であり、それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心、技術表現、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館、インターネットの利用に関しては、前者は、50%以上で、後者は50%未満となっているが、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、技術表現、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「中国語通訳ガイド演習Ⅲ」であるが、「中国語通訳ガイド演習Ⅳ」をつなぐ要の位置にあり、学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生が積極的に参加する機会・環境を作っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>「中国語通訳ガイド演習Ⅳ」の準備授業にあたる本科目「中国語通訳ガイド演習Ⅲ」の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光フランス語	3	前期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>志望動機によれば最も多かったものが「単位数を確保する」が73.3%、次いで「関心のある内容である」56.7%、「友人が履修している」16.7%だった。全受講者の中で1・2年次にフランス語を履修していた人は27%であり、継続してフランス語を学びたい学生が一定数いることが分かる。学年をまたぐクラスであること、学習履歴に差があることを考慮し、活動グループのメンバーに偏りがないう工夫した。</p> <p>シラバス完成後、使用予定だった教科書が販売停止となったことから急遽プリントを配布することになり、資料の準備に苦慮した。初回授業のオリエンテーションでは、本年度から変更されたDPによる評価方法を配点も含めて提示し、授業に臨む心構えをするよう促した。就職活動による欠席者が多いことが予想されたため(4年生だけでなく全員が1回以上欠席した)、前回の授業内容をおさらいする時間を始めに設けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は77.7点(±39点)であり、再試験対象は1名で、再試験は受けなかった。その1名を除き全員が標準的レベルに達し、理想的レベルの80点以上に達したのは57%(35人中、S評価7人、A評価13人)であった。平均値を下回るC評価(60点台)に該当するのは22%だった。</p> <p>学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは、DP1「知識・理解」に関しては全体の95%、DP2「思考・判断」は82%、DP3「関心・意欲」は93%、DP5「技能・表現」88%という結果だった。本科目の該当DPは5「技能・表現」のみで、高評価ではあるが、その他のDPの方が高いものもあり、「技能・表現」の観点ではまだ改善する余地がある。</p> <p>学習量の面では、1回30分程度以上の予習・復習を週に1回以上行ったのは66%であった。就職活動やゼミなどに時間を割かねばならない生活の中でも、半数以上が学習時間を取ったことが伺える。</p> <p>自由記述の意見や授業中の感想として「思っていた以上に楽しくフランス語を学ぶことができた」「フランスに是非行ってみたいくなった」等の声があった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目はカリキュラムマップ上の「専門教育科目」の中の「専門基幹科目」であり、「専門基幹科目」の目標「観光文化学科における教育の骨格となる分野の基本をより具体的に理解するとともに、専門展開科目を履修するにあたっての基本的領域について理解する」に相違なく、学生は一定の成績を収めていることから、内容として妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 DPの観点では、全般的評価に当たる「自分なりの目標を達成した」の質問に「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは93%であることから、内容として妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、おおむねどの項目も評価は高かった(平均値は3.5から3.9)。毎回、具体的な目標を提示しそれに向かって授業を進めていくことで、目標達成もしやすかったものとする。しかしその目標設定が妥当なものかどうか、次年度に向けて見直す必要はあるように思う。「観光フランス語」という本学独自の専門的な科目においては、半期では取まらない広汎なテーマが考えられ、一般的な指標のようなものも存在しないため、何を学ぶべきか見極めることと、その教材を工夫することが欠かせない。インターネット利用について、WEBの学習サイトで受講者全員が小テストを受けた。しかし自己評価の調査で図書館、データベース、インターネットを利用したと答えたのは1割以下だった。また授業の課題以外に学習に「取りまなかつた」のは80%で、教室外への学習意欲の広がりが見られなかったことが課題である。次年度は日常的にフランスやフランス語を意識することの大切さを喚起したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>「専門基幹科目」の意義にふさわしいと思われる授業内容であった結果、高い自己評価が得られ、ほぼ全員が一定の成績を残すことができた。選択科目で学習時間があまり取れない中、学習意欲の低下を防ぎ、ただ単位を取得するためだけに教室にいるなどということが無くなるよう、今後も努めたい。来年度はDP5「技能・表現」をレベルアップさせることを目標とする。それには「授業の進め方とその向上について」で述べたように、テーマ設定を再検討し、「観光」の面でより実際的で役に立つフランス語を身につけられるカリキュラムづくりをしていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	福田達也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネスと法	2	前期	選択	いいえ	

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生が板書をノートにきちんと書き留めるように、あえて配布資料・プリント等の厳選した。そのため、毎回のように講義に出席し、説明を漏らさずに聞いている学生と、講義中の説明等を聞いていなかったり、欠席が多い学生との間に、講義内容の理解に大きな差が生じたように感じた。以上により、学生の学習準備性については、講義の予習よりも毎回の授業の復習を行うという傾向が強いのではないかと推断する。受講動機については、多くの学生が単位数の確保のためと回答しており、ビジネスに関係する法制度等に興味を抱いて履修する学生が少数であるので、今後は履修した上で興味を持ってもらえるよう工夫を施していきたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	ほぼ達成された	ほぼ達成された	ほぼ達成された	ほぼ達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験の成績については、全体として高得点者が多く、上記の目標はほぼ達成できていると思われる。しかし、学生による授業評価によると、到達度自己評価の全ての項目において、多くの学生が③の「まあまあそうだと思う」および④の「わりにそうだと思う」を選択しており、試験の成績とは別に学生の授業内容の理解に努力が必要であると感じた。学習量の評価については、0時間と回答する学生が多いので、今後は授業時間内だけでなく授業時間外学習をしなければならぬよう工夫を施していきたい。さらに、授業時間外学習時間が少ないことと併せて、図書館やインターネットの活用についても、利用していないと回答する学生が多かったので、上と同様に今後の課題としたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性については、ほぼ問題ないと思われる。法に関係する学問は基本的には、まずは制度の内容や基礎理論の理解が重要であり、知識・理解の面が極めて重要であると考えられるためである。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進行方法については、現在のところは変更を検討していない。上記3においても触れているが、毎回授業の概要を示したプリントの配布をすることの意義については理解しているが、これにより授業の際の説明を不十分に聞いてしまう学生が発生するのではないかと危惧している。概要プリントがない分、毎回の授業の説明をきちんと聞いておかなければならないという意識を学生に持ってもらえたらと考えている。現在のところは、試験の全体的な成績を見てもわかるように、このスタイルである程度は理解が高まっているので、今後、全体的な成績がさがらうであれば、概要プリントの配布も検討していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>上記4においても触れているが、学生の授業時間外学習をいかに確保するかが今後の最重要課題と認識している。適宜、具体的な課題を課す等、積極的に改善を目指して取り組んでいきたい。また、就職活動に対する配慮や休講についての連絡等についても検討していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	八島 雄士

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
簿記	3	前期	選択	いいえ	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「学修準備性」としては、前年度後期の「簿記入門」からの継続科目として、共通のテキストを使い、仕訳を中心に、続きの章を使って授業を展開した。しかし、1割ほどの受講生は初めての学生が履修することも、前年度までの経験でわかっており、その対応を含め、繰り返し演習すること、最後の方で、まとめとして模擬テストを2回実施することを授業計画に盛り込んだ。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>「学修準備性」としては、前年度後期の「簿記入門」を修得している受講生から初学者まで幅広い状況である。また、4年生は就職活動のため、6～7割の出席率の学生も含まれる。以上の状況の中で、「学習到達度の自己評価」としては、失格とした学生以外は全員が単位を修得できており、「意欲関心」、「態度」を含め、仕訳については、ある程度の目標は達成できていると思われる。簿記の初歩的な仕訳についてのみ言えば、「学習量の評価」がそれほど確保されていないなかで、また、テストで教科書等を参考にしよとの条件付きであるが、2回の模擬テスト前後の自主学习へのインセンティブを与えることで、授業終了時には、それなりの理解ができていた点で、「思考判断」、「知識理解」、「技能表現」についてもある程度達成できている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>観光文化学科とはいえ、経済との関係性は重要であり、その意味で、ビジネスとの接点として本科目の位置付けは妥当と思われる。「受講動機」から見て、その点を意識している学生も少なからず受講しており、また、「学習到達度の自己評価」から見て、その目標はある程度達成されていると思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質の評価」としては、妥当と思われる。「簿記入門」を修得した学生から見たときに、その継続として日商簿記検定3級の基礎的な仕訳を網羅できるので、初歩のレベルとしては十分と思われる。一方で、初学者で、ついていくのが精一杯の学生から見たときに、達成感が味わえることが大事と考えているので、「学習量の評価」としては、やや不足感があるかもしれない。最終的に、模擬テストを2回繰り返すところで、実力の伸びが観察されるので、その準備段階が大事である。それまでの授業でコメントカードに記入させ、毎回提出し、チェックしたのちに返却していることは、満足度の醸成と準備として今後も継続したいと考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>出席不良の失格者以外、全員が単位を修得でき、優秀な成績の学生が大半を占めることができたので、授業としては成功と考えている。その理由は、毎回のコメントカードを成績評価に加えることで、授業内容を記録するインセンティブになっていること、また、チェックし返却するので、復習に使うことができ、ある意味での双方向性も確保できていることである。また、最後に模擬テストを2回繰り返すところで、期末試験への集中力を高めることができていることである。もちろん、全員が教科書を持って授業に臨んでおり、授業の前提条件が確保されている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語で話す日本の心I	3	通年	選択	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×		×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施に当たり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course focused on providing Tourism Department students with an opportunity to improve their ability to explain Japanese culture to tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We used the textbook "This Is Japan" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and his home stay family.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on 4 criteria (attendance 30%, class work 36%, homework 14%, and a final test 20%). The majority of students received scores in the 70s and 80s.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Although student interest was evident, class size made it difficult to engage with them individually and forced adjustments in instructional design. The skills being practiced (DP5) were both practical and useful. The average student took the opportunity to improve their skill set.</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year will include more frequent homework assignments and quizzes to improve student focus. In addition, more preliminary writing practice using the target language should improve the average student's skill level. Classes in excess of 45 or 50 students are not ideal for assessment based on spoken communication.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The biggest challenge in the coming year will be to design lesson plans ideally suited to the number of students in the class. Perhaps requesting a class limit of 30 students would allow for a more productive student/teacher ratio, and more focused classroom energy.

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	Kenneth Gibson

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Oral English I	1		選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>Lesson preparation by the students was very weak. Very few students actually did any preparation outside of class. Most just copied the homework answers from their friend's text just before class, or tried to finish the homework very quickly just before class.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>The students did make progress, but could have done more. In the class they worked hard and really tried to do all the activities! For DP1 and 5 the results weren't good enough I don't think, but for DP3 and 4 I thought they did quite well and was in fact better than I expected!</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>The students did well in the classroom, but I wish they had done more outside of class to prepare. Please see above for more comments about this.</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

These classes are starting to be arranged by the English Department now, so the goals and curriculum are being set by them. As a part time teacher we do meet with the full time teachers and are consulted, but they decide the actual goals. This has means that the Tourism students are now being asked to do more.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The challenge of evaluation? I'm not sure what you mean... The students are evaluated on the work they do both in and out of class. It's not a big challenge.

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Oral English I	1	後期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course is divided into two sections: Skills and Communication. For this class, I taught "communication". We used the textbook "iTalk" (Cambridge), which offers students the opportunity to focus on speaking and listening skills through a variety of weekly topics. Students engaged in listening practice, dialogue drills, original dialogues and presentations, role plays, and expository discussions on culture.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on 6 criteria (attendance 15%, class work 27%, homework 8%, dialogue presentations 30%, and a final test 20%). The majority of students received a grade in the 75-85 range.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were enthusiastic, very positive, and willing to learn. This positive outlook contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. Ample opportunities to communicate were provided through weekly role plays and presentations, and the smaller class size ensured optimal student-teacher interaction. This increased their opportunities to build communication skills (DP5).</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Goals for the next academic year include better integration of supplementary materials into the current curriculum and increasing opportunities for kinesthetic learning (space permitting).</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>Streamlining and improving the use of class workbooks to encourage careful note taking and completion of homework will improve the accuracy of individual assessment and keep students focused on clear objectives for each class. The use of rubrics to assess class presentations and role plays would also streamline and improve assessment. Finally, the introduction of a simple peer-review process for assessment of presentations might transform passive observers into active participants in the learning process.</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Oral English I	1	後期	必修	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course is divided into two sections: Skills and Communication. For this class, the focus was on "communication". The textbook for this class was "iTalk" (Cambridge), which provided meaningful practice for both listening and speaking skills. Through a variety of weekly topics and short, focused lessons, students had a chance to practice listening, interviewing, organizing information, and creating original dialogues for role plays and presentations.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on attendance 15%, class work 30%, homework 5%, dialogue presentations 30%, and a final test 20%. Students scored well in most areas of assessment with the majority of students receiving a grade in the 75-85 range.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Students actively participated in the learning process which helped to create a very positive and encouraging learning environment. Opportunities to expand language skills flexibly and creatively were also encouraged through dialogue manipulation, role plays and supplementary exercises, thus allowing students to challenge their abilities and strive for a higher level of language acquisition and production.</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Goals for the next academic year include better use of note taking, lesson review, and vocabulary building. Although students generally performed well in class and rated themselves satisfactorily on the "I can..." targets, they often fell short during the brief lesson review at the beginning of each class.</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>Improving the use of class workbooks to encourage careful note taking, completion of homework and lesson review may help keep students focused on clear objectives for each class.</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	末廣幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Intensive Reading I	1	前期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>指定教科書「Japan: The Story of a Nation」と「日本事象300選」は学科CPの英語・日本などに関するグローバルな知識と思考能力などを養う教材として適していると思われる。教科書の難易度の観点から、和訳の予習は不可欠な為、準備した予習用紙を学生に配布し予習を徹底化した。予習用紙には単語欄と和訳欄と評価欄を設け、各自で予習用紙を作成するように指導した。また予習時における達成感および難易度を認識させるために、達成マークを評価欄に記入するように指導した。ちなみに達成マークはABC段階で表記した。この予習に基づき、授業において、予習した範囲の和訳を学生に発表させ、全員で確認作業を行い、和訳の修正および加筆を行った。この作業と同時に、授業では難易度の高い英文の文法解説、内容に関する補足説明を行った。予習用紙は毎回、授業後に回収し、各学生の学習意欲および理解度を確認する作業を行った。また学期末には完成させた和訳を全て提出してもらった。「日本事象」に関しては、予習として例文の暗記を指示し、毎回の授業で確認の小テストを行った。その際、事前に授業内で例文の文法や語彙の解説を行い、学生の暗記作業の効率化に努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は98点であり、再試対象者は0名であった。標準偏差値は全員がAで理想的レベルに達したと思われる。評価構成は和訳50点と英作50点とした。必須科目のため、DPの評価において、大多数の学生が真剣に取り組んだことが推測される。特に「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「課題を検討する力を得ることができた」「的確に判断する力を得ることができた」「意欲を深めることができた」等を高く評価した学生が多かった。これらは予習のチェックを厳しくし、達成度を認識させたこと、教科書に書かれている歴史的背景の補助的解説を行ったことから、自分なりの目標を達成できた学生が大多数であったからと考えられる。但し、DPIにおいて「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」は評価が他の項目に比較し、若干低かった。これは教材の難易度が比較的高いことから、和訳や歴史的背景への理解作業に時間を要したためと考えられる。全体的に英語学習に対して前向きに努力する学生が多く、クラス全体も意欲的な雰囲気形成されたようである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性:長文の読解ができる、習慣として英文を読むことができるなどは多読レポート提出義務や和訳の予習、「日本の事象」の英文暗記等で大多数の学生が体得できたと思われる。②DP,行動目標からみた内容的妥当性:DPの評価に関しては大多数の学生が各項目について高い評価を示していることから授業内容に納得していると考えられる。特に「職業倫理や行動規範について学ぶ」「職業選択の選択参考」の項目は、他科目及び他学科においては比較的低い評価を示す学生が多い中、本科目においては高評価を示している。以上のことから本科目の目的にかなっていると判断し、内容的妥当性には問題がないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価:「テスト、レポート、提出物の評価基準」「学習の範囲や課題の明らかなさ」は評価が高く、オリエンテーションでの説明と授業中での指示を理解していたと考えられる。「説明は理解しやすかった」も評価が高かったが、これは学生の英語力のレベルがほぼ同程度で過剰な説明だと感じる学生、あるいは簡略化されすぎて説明不足と感じる学生が少なかったからだと考えられる。②学習量の評価:予習に一時間以上の時間を要した学生が6割、復習は6割の学生が行ってなかった。このことから課題に多くの時間を取られていることが分かる。確かに和訳、多読、英文暗記と課題はかなりの量であったが、真面目に取り組んでいたことが成績評価に表れている。③情報利用:シラバスを参考にした学生は半数であり、シラバスあるいはオリエンテーションに沿って授業を受ける計画を立てた学生は2割弱にとどまった。オリエンテーションにおける授業計画を的確に明確に伝える必要性を強く感じた。④図書館利用:大多数の学生が図書館利用を行っていなかった。新1年生の中には大学における英語学習を受験英語の延長と考えている学生が多く、図書館利用とは無縁だと考えている学生もいる。オリエンテーションにおいて授業内容の説明だけでなく、多彩な内容を英語で学習するためには情報収集も大切な語学学習の一つであることを指導する必要があると感じた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>教科書の難易度が比較的高かったために、予習や自己学習で苦労している学生が多かった。和訳できずに授業に臨む学生もいた。しかし、知らない単語や語彙は必ず調べてくるように指導したので、授業中に文法解説、内容などの補助的な説明をすると自力で和訳ができ、学期末の和訳用紙には全ての書き込みを完了していた。これが学生の自己達成度が高い評価を示す結果となったと考えられる。また、多くの課題や難解な和訳に挑戦する姿勢がクラス全体に形成されていたこともプラスに作用したと考えられる。学年やクラスの雰囲気によっては、多くの課題や難解な問題を敬遠する場合もあるが、これをいかに学生の達成感へと繋げるかが今後の重要な課題となると考えられる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	八尋春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Intensive Reading I	1	前期	必修	はい	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
					○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>担当した2クラスのうち1クラスについては、本来の担当者の都合が悪くなって学期開始後に担当が決まったために、十分な授業準備ができなかった。ただ、昨年度の授業経験から授業の運営には慣れていたのが幸いで、学生がつまずきやすいところが分かっていたために、そのようなところでは特に丁寧に授業を進めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>多読レポートについては、9割以上の学生が規定のものを書きあげて提出をした。さらに、そのうちの2割の学生は規定以上のレポートを提出した。受講生のうちの8割を超える学生が最終成績において「優」または「秀」を獲得するほどであり、授業の理解度は高かったと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>基礎的な英語は技能科目であり、現在の位置づけは妥当であると思われる。他の英語系の科目と運動しながら、それぞれの科目の特性を生かすことが教育の充実につながると思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>最終的な期末試験では多くの学生が高得点を取っていたが、毎回の授業においては予習などが不十分だと思われることが多かった。予習についての指導をもっとすれば、授業時における受講生の理解度もさらに高まるのではないかと思う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>前述のように、予習についての指導の充実が必要だと思われる。そのためには、授業の進め方についても再検討をして、実際に学生が確実に予習を行うように、ポイントを絞ってそこを集中的に予習するように指導したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	林裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Extensive Reading I	1	前期	必修	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①新入生として、基礎的な英語学習の習慣付けをするためにも、締切を二種類に分けて、計画的に学習ができるように課題を出した。締切の一つは、毎回の授業に関わる締切で、もう一つは、毎月そして学期最後を締切にする課題を予め示した。自由記載の評価には、「4.学習量の評価(3)授業の記録はどうしていたか」では、「教科書」「パソコン」と二つが示されていた。授業で使ったE-LearningのCHleru(チエル)は、入学以来の学習記録の質的・量的記録が、ネット上で学習マイル数として蓄積されていく。それが学習者本人にもわかるようになっているので、やりがいを感じての学習ができるように計画を立てている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績は、良(c)以上が64.7%であり、再試で5名が単位を取った。再試対象者もしっかり学習をし直して、再試で合格点を得た。試験は概ね70～74ぐらいの平均点になるように作成している。</p> <p>目標別にみると、知識理解が60%、技能・表現が40%である。授業の目的はCHleruを利用しての自主的な学習であり、全体指導での受け身の学習態度を養成することではない。学生の評価(自由記述)では、「チエルをするのに必死だった」とあるように、かなりの質と量の課題を常に示されて、知識と技能・表現面で力をつけていっていた。知識理解は最終回の小テストで確認した。このテストの形式と範囲は一回目の授業で示しており、CHleruのダイアログを使っている。その対策用に、前期の授業期間はいつでもその範囲をE-learningで学べるように設定していた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「専門基礎科目」であり、必修である。動機づけが、1.受講動機から判断すると、①必修科目である。④単位数を確保するとの二つが、100%であり、自主的な動機付けとは言えないが、一年の後期以降につながる英語関連の科目への学習の準備を考えると妥当な配置であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から、知識理解が最も進んだ点であることが示されている。それは、学生の自由記載の評価に「授業内で覚えていた」とあることからわかるように、「覚える」ことが多くあったからである。人間の指導者ではできない繰り返し繰り返し学習がこの授業では、ネットとE-Learningのソフトを使い可能になっており、妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、①「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均が、4.3と比較的高い数字であった。逆に④「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は、平均3.7で最も低かった。しかしながら、後者の④はこの授業では授業の目的とは異なるので、このままでも問題はないと考える。ただし、機会を相手に、単調な授業ではもたないので、学生にはPCを離れて、問題を与えて、その解決の過程を説明させることは次年度も行いたい。</p> <p>6.「図書館利用」に、項目。「この授業では、インターネットのホームページを検索し、利用した」を三分の二の学生が選んでいる。これは、学生はここにしか書くところがないので、ここに記載したのだろうと推察する。このことが物語っているのは、学生は、ネット環境があるところでは、このE-learning の利用が可能なので、授業以外の時間帯でも学習をしているのである。この姿勢をこの科目終了後も学生が継続するようにプログラムを学科で組んでいきたい。具体的には、学習マイルの上位者を表彰(学部長賞)するようなことも継続していく。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>大学での英語の授業で必修授業である。大学入学時には、皆一斉にスタートラインに立つヘッドスタート的な期待がある。この科目は、高校の「情報」(必修科目)を受けて、基礎的なタイピングができていう前提でここ近年は始まっている。しかしながら、高校の「情報」の取り組みには幅があり、タイピングとPCへの慣れは、学生により大きく異なる。専門科目での、コンピュータや、それに関連するリタラシーの科目はない。そ</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	八尋真由実

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Extensive Reading I	1	前期	必修	はい	

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ほとんどの学生が高校時代にTOEICのテストを受けたことがないという前提で、TOEICテストの内容、世間での評価などをわかりやすく説明した。また、発音を学習することとリスニング力改善との関係も示し、その重要さを認識させるようにした。英会話にもパラグラフライティングにもつながるような基本的な英作文の能力やリスニング能力の重要性を示し、Chieruの内容を利用して、それらの基礎力が養成できるように、毎回小テストを行ったり、ノートを作成させたりして積極的に取り組ませることにした。パソコンに向かう授業では集中力が持続しないため、数種類のアクティビティを盛り込んで、学生の集中力が保てるように心がけた。同時に、机間巡視をして声をかけるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>すべての学生が2,500マイルを達成することができた。TOEIC bridge miniテストを毎時の授業で受験することで、テストの出題形式に慣れることができた。毎回基本的な英語表現やディクテーションの小テストを行うことで、英語の基礎力を養成できた。また小テストに向けてノートを作成することで、パソコン上の表面的な学習にとどまらず、その内容を自分なりの方法で理解した上で手元に残すことができ、復習や今後の学習に役立てることができている。この小テストを含むテストでは、英作文とディクテーションが主な内容であったが、よく準備して臨んだ学生が多かった。クラスによっては小テストの到達度をもう少し上げられたのではないかとこの点が課題である。発音に関しては、音読のテストも行ったが、恥ずかしさもあるのか、まだ改善の余地がある学生が多かった。後期も担当するクラスの学生については、IIの授業でこの点は継続して指導していく。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>パソコンを使用している授業であり、教員のかかわり、学生の活動についてはおのずと制限があるため、現在の位置づけで妥当であると思われる。CP、カリキュラムマップの視点から見ても、1年次に基礎的な英語音声、英語表現、リスニングについて学習するというのは、妥当と思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>CALL教室でのe-learning教材を使った授業であるため、いかに学生本人が主体的に取り組むかが重要となる。全員が真剣に取り組めるように、そのモチベーションを維持、向上させるための努力をもっとしていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>少しでも学生の英語力が向上してほしいという強い思いから、その点を強化できるような授業方法で行ってきたが、全員が全力で取り組んでくれるようになるまでには、まだ改善の余地があると認識している。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	石田 もとな

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition	1	前期	必修	はい	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
					○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①語彙を増やすことを目的とし、毎回の授業で単語テストを実施。解説の際にその単語を使った例文が日常のどのような場面で使われるかを説明したところ自由記述に『ためになった』『楽しかった』『使う場面等を教えてもらったことで授業が好きになった』等のコメントが多数あった。使う場面の想定や例文などを準備することでつまらなくなりがちな単語や文法の学習を楽しいものにすることに重点を置いた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎回の単語テストで初回から最終回まですべて満点の学生がいたこと、小テストの成績を30%評価に加えたが、全員が単位取得ができたことを考えると完全ではないながらも、教育目標は達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目はDP5に該当する必修科目である。観光文化に関するどのような仕事をする際にも英語の基礎文法と英作文は不可欠であることを考えると内容的妥当性はあるものと考えられる。学生アンケートの結果としては、到達度自己評価の中の『自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた』に関する平均値が4.4、中央値が4.5となっていることから内容的な妥当性には問題はないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、最も数値が高かったのは、『説明は理解しやすいものであった』の 4.8であり、最も数値が低かったものは『口頭、文書など、何らかの形で 学生の質問を受け付け、それに答える機会が設けられていた』の4.3であった。説明に偏りすぎて質問の機会が十分でなかった様なので、説明の前に質問をさせて 重点的にその部分を説明する形に改善したいと考えている。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>語彙力の向上、基礎知識の形成についてはおおむね達成できたと考えられる。単語を覚えるだけでなく、それを駆使してより自由に作文ができるよう、単語テストの 後に時間を取って取り組むように改善したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	林裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Grammar & Compositon I	1	前期	必修	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①大学入学直後の学期に履修する英語の必修科目の一つである。英語が得意、好きである学生から、不得意で英語嫌いの学生まで全員に履修させること自体が課題である。これに対して、幅の広い学生層に対応するために、オリエンテーション時に行う英語のプレースメントテストで、習熟度別クラスで授業を編成し、一年次の必修科目を展開している。学習準備性に対しては、語彙調ベノートを二週間前に提出させて、その中で最も詳しく仕上げたものを選び、B4二枚に印刷して、一週間前に配布し、それを使い予習して行くようにさせている。それを使い、テキストの読み込みが楽になることを意図している。授業の質評価の2「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」が、平均値4.0であり、事前の学習の取り組みやすさを示すものと確認できた。</p> <p>②昨年度同様、単語集を使い、英語の文の書き取りの小テストを行っている。このテストの狙いは二つであり、一つは遅刻をさせないこと、もう一つは基礎的な語彙の強化を授業外で自主的にするように学習習慣をつけさせることである。これも学習範囲が明確切の一つは、毎回の授業に関わる締切で、もう一つは、毎月そして学期最後を締切にする課題を予め示した。自由記載の評価には、「4.学習量の評価(3)授業の記録はどうしていたか」では、「教科書」「パソコン」と二つが示されていた。授業で使ったE-LearningのCHeru(チエル)は、入学以来の学習記録の質的・量的記録が、学習マイル数として蓄積されていく。それが学習者本人にもわかるようになっていっているので、やりがいを感じての学習ができるようにしている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績は、良(c)以上が64.7%であり、再試で5名が単位を取った。再試対象者もしっかり学習をし直して、再試で合格点を得た。試験は概ね70～74ぐらいの平均点になるように作成している。</p> <p>目標別にみると、技能・表現が100%である。達成度評価の総合評価割合は、試験50、小テスト30、その他20である。本来、試験では点数が取れない学生に対し、小テストで地道に稼いでおいてもらいたいという意図であるが、残念ながら、小テストと試験の結果は同じであり、日頃の学習習慣がある学生は、小テストにも試験にも強い。成績A(秀)の学生11.8%は、小テストはほぼ毎回合格である。学習量の評価で、「授業に参加するために、1日30分程度以上の準備をどのくらい行いましたか」に対して、アンケート回答者中、68.75%が、4.5回以上(含む6回以上)となっており、同じような質問項目を復習についての問いでは、4.5回以上は17.64%となっており、学生の学習は予習重視型中心となっていることがわかる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「専門基礎科目」であり、必修である。動機づけが、1.受講動機から判断すると、①「必修科目である」から、100%であるが、「関心のある内容である」が、12.5%あり、意識の高い学生の存在が確認された。英語の科目の中では、英語の文法関連科目は、学生が好まない科目であるが、後期以降の英語関連科目全体の配置を見ると、この科目をこの学期にこそ配置する意味は大きい。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から、技能表現が最も進んだ点であることが示されている。それは、学生の自由記載の評価(学習量の評価(4)授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習)に対して、「予習、単語の確認」とあることからわかるように、技能を身につけるためには、自主的な取り組みが必須であり、この点、DP、行動目標からみた、内容的妥当性は確認できたと言える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性にはほぼ問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、①「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均が、4.3と比較的高い数字であった。逆に④「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は、平均3.7で最も低かった。しかしながら、後者の④はこの授業では授業の目的とは異なるので、このままでも問題はないと考える。ただし、PCを相手に、単調な授業ではもたないので、学生にはPCを離れて、問題を与えて、その解決の過程を説明させることは次年度も行いたい。</p> <p>6.「図書館利用」に、項目。「この授業では、インターネットのホームページを検索し、利用した」を三分の二の学生が選んでいる。これは、学生はここにしか書くところがないので、ここに記載したのだろうと推察する。このことが物語っているのは、学生は、ネット環境があるところでは、このE-learning の利用が可能なので、授業以外の時間帯でも学習をしているのである。この姿勢をこの科目終了後も学生が継続するようにプログラムを学科で組んでいきたい。具体的には、学習マイルの上位者を表彰(学部長賞)するようなことも継続していく。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>大学での英語の授業で必修授業である。大学入学時には、皆一斉にスタートラインに立つヘッドスタート的な期待がある。この科目は、高校の「情報」(必修科目)を受けて、基礎的なタイピングができていう前提でここ近年は始まっている。しかしながら、高校の「情報」の取り組みには幅があり、タイピングとPCへの慣れの度合いは、学生により大きく異なる。専門科目での、コンピュータや、それに関連するリテラシーの科目はない。総合人間科学にあるが、選択科目である。社会に出る際に、情報リテラシーについては、仕事に使える程度には、この授業でPCに慣れさせておくことは、必要であり、この授業でもその基礎を教える必要がある。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	中村茂徳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Grammar&Composition I	1	前期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>コミュニケーションを目的としているので、英語力のアウトプットを鍛えることを目標とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎回復習テストを行い、その中で学生の理解度をチェックすることができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>観光学科の語学力強化の目的からすれば、英作文と英文法の上達は重要である。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>毎回の復習テストの量や質は担当学生の能力を考慮したものであった。その点からすれば、妥当であった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>目標にはある程度達成したが、この授業での成果が次のクラスで継続的發展に繋がるためには、学科内での緊密な連携が必要となるとされる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
比較文化論	1	前期	選択	いいえ	3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
					○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course focused on increasing student awareness and understanding of global cultural practices through comparing and contrasting them with Japan. Students engaged in critical analysis and dialogue to widen horizons and prepare for tourism careers that require a more global perspective.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on 5 criteria (attendance 15%, quizzes 10%, homework 10%, class work 45%, and a final test 20%). Due, in part, to the small class size and the fact that it was an elective, all students scored above 90.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Increased knowledge and understanding of the material was evident, students showed a real interest in the content of the course, and all students had a positive attitude towards learning. Critical thinking skills were improved as students compared and contrasted cultural beliefs and practices. This triggered self reflection and potential acceptance of a multiplicity of truths both outside and within Japan (DP5).</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Goals for the next year include the development of a modular syllabus with opportunities for students to present topical information on cultures not included in the textbook. This could be matched to a final project in which students create and post a simple pathfinder of online resources related to this country or topic. A growing number of resources on an open wiki would challenge future students to build on the work of previous students.</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>A reallocation of class time devoted to class discussion will be required to include preparation for and presentation of student projects. This will mean more of the textbook will be assigned as homework. Success will depend on student willingness to complete independent work outside of the classroom.</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光学入門	1	前期	必修	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「必修科目である」90.3%、「関心のある内容である」22.2%、「単位数を確保する」16.7%となっており、履修者が「観光学入門」を勉強するメリットについて、まだ実感できていないことが分かる。「観光学入門」を勉強するメリットについての説明を行う必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト(レポート作成)を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は90.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。目標別に見ると、意欲関心に関しては75.6%、知識理解に関しては68.9%、思考判断に関する問題は67.5%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、意欲関心、知識理解、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館、インターネットの利用に関しては、前者は、4.1%未満で、後者は10.8%となっているが、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から意欲関心、知識理解、思考判断に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光学入門」であるが、観光系の科目をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生が積極的に参加する機会・環境を作っていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>観光系の科目をつなぐ要の位置にある「観光学入門」の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の意欲関心、知識理解、思考判断の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	村田 希巳子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Toeic演習A	1～2年	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>Toeicの問題をこなし、単語力、ディクテーション能力、速読能力、文法力を伸ばすことに重点を置いた。アンケートでは30分以上授業の準備をした学生は、35人中29人とかなりいたが、実際はもっと鍛えたかった。単語の勉強はやった、という学生が多かったが、もっと単語力を身につけさせたかった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった					やや達成されなかった
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>単語のテストを毎回行ったが、25点満点で11点しか平均が取れていない。その分、試験は75点満点で、平均が67点だったので、多くの学生が、教科書を丸暗記して受けたようである。その結果、平常点を入れて、全体の平均点が、83.9点であった。内訳は、S 21人、A5人、B8人、C3人、D4人であった。登録したものの、最初からほとんど来ていない学生が6人もいて、とても残念だった。平均点は、その学生を入れないで計算した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>なかには、「まあ目的を達成した」、という学生が、24人いたが、「少しそうでない」という学生が、10人もいたのは驚きである。いくら促しても、1年生の単語力はあまり高まらなかった、と思われる。単語のテストは、1年生の平均が、9.53点であったのに対し、2年生の平均が12.2点で、1年生の不勉強が目立った。Toeic技能は、テキストを通じて少しは習得できたと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業は、単語のテストを毎回行い、TOEICの問題集をゆっくりと進めていった。「職業倫理について学べた」が68%や「就職選択の参考になった」が68%(こちらは、「かなりそう」が8%)なので、将来TOEICが必要という認識をもってもらったが、それが実践には結びついていない。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>Toeic演習を行うには、人数が多すぎるクラスであった。最初は47人の登録。それから、6人がすぐに来なくなった。アンケートに参加した学生は35名。欠席も多かった。就職が必要と説明してもヒント来ている学生が少なかった。クラスを2つに分けて特訓するべきだったと思える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	家根橋伸子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語A	1	前期	選択	はい	2

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
					○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>来日直後の留学生であるので、大学での授業(レポート、プレゼンテーションを含む)、大学長いでの生活・交流に十分に参加できるような日本語能力の育成を図ることを目指した。すでに持っている日本語能力のブラッシュアップ(正確さ・適切さ)の向上と表現能力の育成とともにアカデミックジャパニーズを重視し、口頭表現・文章表現双方の活動をバランスよく取ることを重視し、授業計画に生かした。</p> <p>具体的には最終的にプレゼンテーションを行うことを目標におき、題材の選定・考察・原稿準備・練習というステップの中で上述の目標を達成していくことを目指した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績は二人ともAの判定となった。プレゼンテーションを完成させるという目標は一応達成されたが、その間の各段階(題材・考察・原稿・練習・発表)を経る中で能力の向上に十分に結びつくような取り組みをさせることができず、プレゼンテーションのレベルも私のめざしたものより低いものにどまった。学生評価結果では自分の能力向上については自己評価が高いが、担当者の視点からはもっと高めることができたのではないかと考える。</p> <p>学生評価では学習の課題や範囲の明確さ、説明の理解しやすさ、テスト・提出物の評価基準の明確さに2名中1名が「割とそう思う」のほうにチェックしており、「かなりそう思う」ではなかったことは、不満があったことを表しているとも捉えらえる。これらの点を改善することでより能力向上・目標の十分な達成に結び付けられたのではないかと反省している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は交換留学生対象の日本語科目である。しかし、来日直後の留学生であり、来日するまでどのようなレベルの留学生で、日本語のどこに問題を抱えており、何を学びたいと考えているのか開講するまでわからないという問題がある。少人数でもあり、あらかじめ決めた授業計画に沿うのではなく、柔軟に対応することが必要なのではないかと考える。ただし、CP,DP上では内容的には妥当であると考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>3で述べたように、プレゼンテーションを完成させるという目標は一応達成されたが、その間の各段階(題材・考察・原稿・練習・発表)を経る中で能力の向上に十分に結びつくような取り組みをさせることができず、プレゼンテーションのレベルも私のめざしたものより低いものとどまった。学生評価結果では自分の能力向上については自己評価が高いが、担当者の視点からはもっと高めることができたのではないかと考える。学生評価では学習の課題や範囲の明確さ、説明の理解しやすさ、テスト・提出物の評価基準の明確さに2名中1名が「割とそう思う」のほうにチェックしており、「かなりそう思う」ではなかったことは、不満があったことを表しているとも捉えられる。また、学習量をもっと増やすべきであったし、図書館利用なども活用するよう授業に加えていく工夫も考えられる。これらの点を改善することでより能力向上・目標の十分な達成に結び付けられるのではないかと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>達成状況は十分ではなかった。本科目は来日直後の交換留学生であり、実際に会うまでのようなレベルの留学生で、日本語のどこに問題を抱えており、何を学びたいと考えているのかわからないという問題がある。上述のように、少人数でもあり、あらかじめ決めた授業計画に沿うのではなく、柔軟に対応することが必要なのではないかと考える。しかし、このような点に配慮し、また来日直後の精神的不安定さにも対応するあまり、強く目標へと推し進めていくことができなかった。柔軟性とともに積極的な指導を来年度は行っていく必要がある。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	石田 もとな

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英文講読	2	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
					○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①非常に難しいテキストの和訳に挑戦するために、自身が予習ノートを作り、学生にどのように準備するかを示すようにした。②受講動機は、関心のある内容であるというものと単位数の確保が多かったため、内容を理解できること、単位が取得できるようにすることを念頭に置き、レディネスも評価の対象とした。具体的には、指定範囲の単語を調べ、自分なりの和訳をして授業内で発表、授業のノートと宿題としてしてきた和訳を提出させた。③日本の事象に関するサブテキストの内容に関しては、ディクテーション小テストを作成、実施し学習状況の確認を行った</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が、欠かすことなく課題を提出し、その結果として単位を取得することができた。学生自身の評価においても『自分なりの目標を達成した』という項目の中央値は4.0となっており、取り組んだことに対し、一定以上の評価をしていることがわかる。学習量の評価に関しては『授業に参加するために1回30分以上の準備をどのくらい行ったか』という問いに対し、回答者15人中10名が6回と答えていることから一定以上の準備が行われていることがわかる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目はDP5に該当するが、学生の授業の質評価における『授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が設けられていた』に対する答えは、中央値が4.0であり内容的妥当性はあるものと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、最も数値が高かったのは、『説明は理解しやすいものであった』の 4.2であり、最も数値が低かったものは『口頭、文書など、何らかの形で 学生の質問を受け付け、それに答える機会が設けられていた』の3.7であった。説明に偏りすぎて質問の機会が十分でなかった様なので、説明の前に質問をさせて 重点的にその部分を説明する形に改善したいと考えている。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>大学生らしく、難しい課題に取り組むという姿勢を身につける基礎には成りえたと思うが、前期のみの担当であったため、継続性の確認はできなかった。複数の担当 者で担当する科目は、担当者同士がコミュニケーションを密にし、身につけたものは継続していくように、見守る姿勢が必要だと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	木沢誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国内旅行実務	1	前期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策であるため、その合格を目的とした。分野としては、国内観光地理とJR等の運賃規則と計算の2分野からなっている。もともとJR等の分野は、細かい規則を覚えなくてはならず、しかも現実の旅行業界では、コンピューター処理されているため殆ど実用的でない。現行の本国家試験の欠点の一つであるとも言われている。その難解さと非実用性が、学生の学習意欲を減退させる側面はある。一方の国内観光地理は、白地図やスライドを使い説明や作業をしていくため、観光を学ぶ学生目線での目的に合致しており、興味は深いようである。この資格は、例えば看護師資格などとことなり、目指す職業にはかならずしも必須資格ではなく、履修途中でJR等の規則、運賃計算の難解さに、合格を諦める学生も少なくない。そのため、シラバスで示した「達成目安」を「標準レベル」に置き、単位を取得できるレベルに落とさざるを得ない状況も出てくる。一方では、本気で合格を目指す学生もおり、「達成目安」の「理想レベル」の授業も求められている。そのため、合格を目指す学生には「夏休み特講」の受講を勧めつつ、通常授業では「標準レベル」の内容とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験を目指す授業であることから、ほぼ毎週で小テストを実施した。その平均点で成績評価をする(60点で単位認定)こととした。結果は、出席数を満たした学生は全員単位取得できた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策授業であることから、DP1「知識・理解」をその評価基準とすることで問題ない。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>国家試験対策テキストを使用、ほぼ毎週で小テストを繰り返したため、学生アンケートによれば、予習、復習に割いた時間は他の授業より多い。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>国家試験対策授業ではあるが、そのめざす資格の職業的重要性や評価があいまいであり、学生のモチベーション持続からは難しい側面がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	岩井 朝子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
TOEIC演習C	1	前期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 宿題をしてきていることを前提に授業を進めるので、宿題の量があまり負担にならないように考慮した。 ② 授業の終わりに、授業中に学んだ単語のレビューを行い、定着させるようにした。 ③ 中間テストをして、学生への復習の意欲を高めた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
						やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>① 学生の到達度自己評価において、24人中、20人の生徒がある程度目標を達成したと回答しているから。 ② 個別回答において、授業の課題以外に単語のまとめ学習などしている学生が5名ほどいた。 ③ 予習時間の回数が多く、授業内で自分の考え方の間違いを確認しながら授業に取り組めた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DPの評価(9)に職業倫理や行動規範について学ぶことができたという評価項目がありますが、TOEICのような英語技能を学ぶ授業で、こういった評価項目を学生がどのような観点から評価したのかよくわかりません。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>できれば、前期内で一冊の教科書を終了したいと考えていますが、どうしても時間が足りなくなってしまいます。TOEIC試験での点数を上げることが授業の目標の一つなので、授業が単調、機械的になりがちですが、モチベーションを上げる工夫をこれからしていきたいと思います。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>全体的に学生は、予習をし、積極的に授業に取り組んでいることがわかった。TOEICという個人スコアを上げる科目ですが、今後は、授業の中で、ペアワークやグループワークを積極的に取り入れ、クラス全体で学び合いながらスコアアップにつながる教授法を取り入れていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
TOEIC演習C	全学年	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は全学年を対象にした科目であるが、TOEIC受験の有無および受講生の英語力によってその後の授業スタイルが変わっていくことが予想されたので、開講日にチェックテストという形で模擬TOEIC(実際の試験における設問数を半減したバージョン)を実施した。その結果、全員がTOEIC初心者もしくは初級レベルであることが判明したので、テストの仕組みなど基礎的な部分から説明した。教科書を使用したか、掲載されている演習問題に回答していくという詰め込み式ではなく、1問1問にできるだけ時間をかけ、なぜ正しいのか、なぜ誤りなのか、などの解説を加えながら、徐々にテストの形式に慣れさせるように心がけた。また、語彙や音声などに不慣れな学生がほとんどだったので、くりかえし音声を流す、くりかえし板書で説明することも毎回の授業で行った。くわえて、テストの根幹をなす語彙力の強化も図った。試験の傾向として、ビジネス系統の単語が頻出されるので、単なる解説にとどまらず、実務の現場ではどのような状況下で使われる単語なのかについての説明も加えながら、単語のイメージが記憶に定着しやすい支援を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
						やや達成されなかった
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>授業には毎回ほぼ全員が出席し、こちらからの指名の他に自ら積極的に発言するなど学習意欲の高い学生が多かった。しかし初級レベルだったので、学習した内容を理解・消化していくのに時間を要したように思われる。その証左として、復習テスト(30点配点)や定期試験(50点満点)の結果は、こちらの予想を下回った(復習テスト第1回の平均点:15点満点中7.3、第2回の平均点:7、定期試験平均点:50点満点中28.8)。半期15回の授業だけで大幅なスコアアップを望むのは現実的に厳しいので、少なくとも前期・後期と通年で継続受講することが必要ではないかと思った。その一方、学習量の評価では、ほとんどの学生が1回30分程度以上の予習・復習を行っていたことがわかった。また(3)授業の記録については、全員が「自分なりのノートを作成した」を選択していた。これは、開講当初に専用ノートに予習復習の成果を記入し、教科書に書き込みをしない、というこちらからの指示を学生が実践した結果である。その反面、復習テストや定期試験の結果とのギャップが著しいのは、試験に結びつくような形での効果的な予習・復習がなされていないかと推測される。今後は、授業外における学習方法にも言及していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目はDP5 技能表現が対象になっているが、本年度の受講生の英語レベルから判断すると、技能以前にテストに対する基本的知識、頻出する単語にふれる絶対量が不足していた感が否めない。技能だけでなく、知識理解も対象にすべきではなかったか考える。TOEICは英検などと同様、いわゆる検定試験であり、傾向と対策が存在する。技能であれば、スコア・アップがそれに相当すると考えられるので、このDPを対象にすることに問題はない。しかし継続するのであれば、受講に際しては一定の英語力が必要であることや、TOEICスコア何点以上の者を対象にするなどの制限をかけて、DPとの整合性をもたせるのがベターと考える。今回担当したクラスのように初心者が大半であれば、テストに対する知識理解を前提として、科目名に入門などの名称を付与し、受講可能かどうかの判断を容易に下せるような措置を講じることも必要でないか考える。科目の位置づけと受講者のニーズやレベルとの間で多少のミスマッチが生じていたのではないかと判断し、本科目の現時点で内容的妥当性には、若干の問題があったと判断せざるを得ない。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>前項目とも関連するが、何を科目の柱とするかによって授業の進め方は変化する。傾向と対策と称して、予備校的な授業スタイルを採るのか、基礎的な部分から段階を踏んで進めていくのか、その兼ね合いは今後の課題である。対応策として、開講初日にアンケートを実施し、15回の開講期間中どのような形までもっていきたいのかなどの要望をできるだけ細かく拾い上げ、それに沿った形で授業を行う必要があると考える。学習した知識の定着をより強固なものにするため、復習テストの頻度を半期2回から毎回実施するなど徹底したインプットを図ることも検討したい。また、当該科目のテキストは、その大半が演習問題が網羅されているスタイルである。問題の解答・解説だけに終始することのないよう、テキストの選定にも注意を払っていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は学生の学習意欲が高く、クラス運営というマネジメント面からは、円滑に実施することができた。しかし、受講生のモチベーションの高さを、テストの数値に結果として有機的に反映させることができなかった点は、今後の課題である。学習量については、毎回の予習・復習を専用ノートを活用して実践していた。この点は次年度も継続しながら、今年度実践できなかった予習・復習のノートチェックなど、自宅学習を含めた授業外での学習支援にまで力を入れていきたいと考えている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	木沢誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
海外旅行実務	2	前期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策であるため、その合格を目的とした。分野としては、国際航空運賃と出入国規則等の2分野からなっている。もともとJ海外航空運賃の分野は、細かな規則を覚えなくてはならず、しかも現実の旅行業界では、コンピューター処理されているため殆ど実用的でない。現行の本国家試験の欠点の一つであるとも言われている。その難解さと非実用性が、学生の学習意欲を減退させる側面はある。一方の出入国規則等は、自分が海外旅行をする際に経験したことの規則を覚えることであり、実社会でも有益と考える学生目線での目的に合致しており、興味は深いようである。この資格は、例えば看護師資格などことなり、目指す職業にはかならずしも必須資格ではなく、履修途中でJR等の規則、運賃計算の難解さに、合格を諦める学生も少なくない。そのため、シラバスで示した「達成目安」を「標準レベル」に置き、単位を取得できるレベルに落とさざるを得ない状況も出てくる。一方では、本気で合格を目指す学生もおり、「達成目安」の「理想レベル」の授業も求められている。そのため、合格を目指す学生には「夏休み特講」の受講を勧めつつ、通常授業では「標準レベル」の内容とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験を目指す授業であることから、ほぼ毎週で小テストを実施した。その平均点で成績評価をする(60点で単位認定)こととした。結果は、出席数を満たした学生は全員単位取得できた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験対策授業であることから、DP1「知識・理解」をその評価基準とすることで問題ない。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>国家試験対策テキストを使用、ほぼ隔週で小テストを繰り返したため、学生アンケートによれば、予習、復習に割いた時間は他の授業より多い。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>国家試験対策授業ではあるが、そのめざす資格の職業的重要性や評価があいまいであり、学生のモチベーション持続からは難しい側面がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	中村茂徳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英文講読 I	2	前期	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① テキストが専門的知識を有し、非常に難しい英語表現が多かったので、学生には分かりやすい授業を目標とした。② 量をこなすよりも、質を重視し、学生が納得するまで英文構造や文型などの英文法について詳しく説明した。③ 日本史の説明についても詳しく行った。④ 単語テストを毎回して理解度を向上させた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>おおむね、前期試験の結果も良かった。授業中もまじめな姿勢で参加していた。また、単語テストなどの復習もしっかりしていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① 観光学科の観点から、英語で歴史を学ぶ点は妥当性がある。② 学生の英語力からすれば該当テキストは適正だとは言えない。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>予習—解説—復習の流れで行っている。特に復習テストに重点を置いている。今後もそのような指導をさらに向上させたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の理解度向上のために、背景を説明して、その上で英語の解説をした。今後は、学生の能力にあったテキストを選択することだと思われる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	末廣幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英文講読 I	2	前期	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>指定教科書「Japan: The Story of a Nation」と「日本事象300選」は学科CPの英語・日本などに関するグローバルな知識と思考能力などを養う教材として適していると思われる。教科書の難易度の観点から、和訳の予習は不可欠な為、準備した予習用紙を学生に配布し予習を徹底化した。予習用紙には単語欄と和訳欄と評価欄を設け、各自で予習用紙を作成するように指導した。また予習時における達成感および難易度を認識させるために、達成マークを評価欄に記入するように指導した。ちなみに達成マークはABC段階で表記した。この予習に基づき、授業において、予習した範囲の和訳を学生に発表させ、全員で確認作業を行い、和訳の修正および加筆を行った。この作業と同時に、授業では難易度の高い英文の文法解説、内容に関する補足説明を行った。予習用紙は毎回、授業後に回収し、各学生の学習意欲および理解度を確認する作業を行った。また学期末には完成させた和訳を全て提出してもらった。「日本事象」に関しては、予習として例文の暗記を指示し、毎回の授業で確認の小テストを行った。その際、事前に授業内で例文の文法や語彙の解説を行い、学生の暗記作業の効率化に努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値(評価50点満点:評価構成は和訳25点と英作25点)は46点であり、再試対象者は0名であった。標準偏差値はSが11名、Aが4名であり、概ね高得点者が全体の7割を占め、点数の低い学生はいなかった。単位数の確保のみならず、関心のある内容である事を受講動機に挙げた学生が多いことから、真剣に授業に取り組む姿勢が見られ、クラスの雰囲気も良好であった。但し、DP上の各項目では評価が平均値に集中しており、これは課題の多さによる負担感と難易度の比較的高い授業内容の未消化によるものかと思われる。予習のチェックを厳しくした為、自分なりの目標を達成できた学生は比較的多かったが、単位数の確保のために受講した学生およびオリエンテーションを受けなかった学生の中には、到達度自己評価や授業の質評価に十分納得ができず、おむね評価の低い学生がいたようだ。選択科目においては、オリエンテーションにおいて、学生が十分納得できるより詳細な情報を与え、選択するように指導する必要があると考えた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性: 英文原書の精読や英語で日本の生活を説明するなど、洗練された英語のインプットとアウトプットは本科目に相応しい内容となっていることから妥当性は認められる。②DP, 行動目標からみた内容的妥当性: 授業内容から学生には高度な英語力と時代背景の情報収集が要求されたために、DPの到達自己評価は概ね平均値が多く、あるいはこれを下回る評価もあった。和訳作業のみならず図書館、インターネット等を活用し、情報収集が必要であることはシラバスにも明記されているが、これらを活用した学生が皆無であった。この点は、シラバスを参考にしないで、受講していることが原因と思われる。オリエンテーションにおける、シラバスの説明の徹底化を図る必要性を感じた。学期末の試験結果と比較して、到達度自己評価が全体的に低い傾向にあるのは、教科書の難易度、内容への関心度、課題量、理解度等の要因が考えられる。また学生各人の英語力や興味にもばらつきがある可能性が考えられる。しかし、全般的にクラスの雰囲気は良好で、真面目に英語学習に取り組んでいた。以上から内容的妥当性には問題がないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価： 予習の徹底化と提出の義務化を図ったために、大多数の学生が比較的高い評価を挙げている。予習に力を入れた指導により語学学習における予習の重要性を認識できたことがこの評価につながったと考えられる。発表や質問の項目で低い評価を示した学生がいたが、本科目に対する期待の高い学生にとっては、授業内で消化すべき課題に追われ、質疑応答の機会が少なかったことに満足度が低下したと考えられる。②学習量の評価： 約8割強の学生が予習にかなりの時間を充てているが、残り2割弱の学生がほとんど予習をしていなかったことに驚いた。また授業の記録をしていなかった学生が1名いたが、全員が学期末の学習済み和訳提出をおこなっていたので、矛盾を感じた。③学修のための情報利用、図書館利用： シラバスの記載を約6割の学生が参考にしていなかった。単位の取得を挙げた学生が多かったことから、選択科目にもかかわらず、シラバスを参考にしなかったと考えられる。オリエンテーションにおいて、シラバスの内容を確認し、授業の進め方を確実に伝える必要性を強く感じた。また図書館利用者も1名にとどまり、多彩な内容を英語で学習するためには情報収集も大切な語学学習の一つであることを指導する必要があると感じた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>教科書の難易度が比較的高かったために、予習や自己学習が困難で、和訳できずに授業に臨む学生が数名いた。但し、知らない単語や語彙は必ず調べてくるように指導したので、授業中に文法解説、内容などの補足説明をすると自力で和訳ができ、学期末の和訳用紙には全ての書き込みを完了していた。語学学習は英語力や興味に差のある学生をまとめ、より満足度の高い学習を提供し進めるかが課題となる。そのためには授業内容のみならずクラスの雰囲気作りも必要となる。そのためにはCP,DPのみならず学生の意見や要望にも耳を傾け、分かり易く、身につく授業を行うことを考慮しながら準備を進める必要性を感じた。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	村田 希巳子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英文購読Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>日本の文化を説明できるように、「日本事象300選」のディクテーション小テストを毎回行った。難解な教科書を、分かりやすく説明しようと心掛けた。そのため、日本の歴史を説明し、長い複雑な文の構文や、文法を分かりやすく説明するよう心掛けた。そして次の授業の最初に前回の授業の内容を把握する復習テストを行った。学生は授業に参加するために30分以上6回準備を行った学生が7名で、大部分の学生がしっかり準備をしたと思われる。復習をした学生も7名。学習準備にはかなり時間をかけているのが分かる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>300選のディクテーションとJapaneseの復習テストと授業貢献度だけで成績をつけた。ディクテーションは、10回行い、35点満点で平均は、55点満点で26.2点だった。復習テストはの平均は42.6点で、授業貢献度を合わせると、平均が86.3点になった。これを2で割って、50点満点にして、もう一つの英文購読授業と合わせることにしている。内訳は、45点以上が6名、40点以上が1名、35点以上が1名、30点以上が2名だった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度は、「まあまあ」が4名、「わりに」が4名、「かなり」1名で、10名中9名が何らかの満足を得ているようである。「専門分野で必要となる技術を身に着けた」、とする学生が9名いた。「事象を理解することが出来た」、は「まあまあ」が5名、「わりに」が2名「かなり」が3名いた。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>あの難解な教科書を、もっとかみ砕いて教えるべきだった。学習量はかなり長い時間を費やしたようである。1回30分以上の準備を11回した学生が10人中7人だった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>まず、長い英語の構文よりも、日本の歴史を詳しく説明することが必要だった。それでもだんだん英語の構文に慣れてきたと思われる。しっかり復習する癖がつくので、毎回復習テストしたことは良かったと思える。来年の課題は、もう少し学生のレベルに合った教科書であれば、もっと興味を引いたのではないと思われる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	須藤秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際経済入門	2	前期	選択	はい	66

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○		

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・大切にしていることは、①学生が国際経済の事象に関心をもつこと、従って、国際経済に関する記事に目が行くようになること、②今年起きている国際経済の出来事や最新のデータを示しつつ、どういう意味を持つのか理解させること、などである。</p> <p>・授業計画では、広く国際経済の諸事象を取り上げ、関心をもつこと、学ぼうとすることのきっかけを作ろうとした。特に、外国為替の部分、貿易政策の部分はポイントとなる旨伝えた。授業準備では最新の新聞報道などの情報やデータを伝えることに努めた。</p> <p>・中間提出課題として、自分で国際経済に関する記事を拾って、意見を述べさせたが、その課題以降、興味が湧いたと言う学生が出て来たのは好ましい。</p> <p>・何を予習、勉強したらいいのか分からないという声は、期間中の学生アンケートでも知ることができ、あらかじめ配付した教材を読んでおくことを求めたが、大方は予習していなかったようだ。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生の「自分なりの目標達成」は(英語学科2年生)2.9、(観光文化学科3-4年)3.4、(同2年生)2.6と両学科2年生は低いが、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」は(英2年)3.1、(観3-4年)3.2、(観2年)3.2とまずまずと思う(知識・理解)。「学びを深めたいと意欲をもつことができた」は、(英2年)3.1、(観3-4年)3.0、(観2年)3.3とまずまずであった(意欲関心)。</p> <p>全体を通して、以上の見方に加え、期末試験の結果は、(英2年平均)75.2点、(観3-4年)64.3点/不合格者を除いて 77.2点、(観2年)69.2点とまずまずの成績であり、昨年も同程度であったので、「やや達成された」と考える。</p>					
* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>人文学部と両学科のDPにて、「社会科学の特定の専門分野における基礎的知識と運用能力」、「社会科学の特定の学問領域において、的確な考察および判断」、「国際的視野」「現代社会の諸問題」「ビジネスの領域についての幅広い理解と知識」「現代社会の実態を学際的な視点でとらえる能力」等が言及されているが、本科目はこれらのDP実現に資すると考える。この点、および学生が一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と思量する。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>・配付教材に沿った解説は今後も続けていきたい。国際経済の理論より実際に起きている事象の理解に重きをおき、学生の関心を引きたいと思っているが、一方、初めて経済を学ぶ学生が多いことから、理論・理屈についても十分説明して理解を向上させるようにもっと努める必要があると感じる(例えば、インフレの国の通貨は何故安くなるのか、自国通貨が安くなるとなぜ輸出しやすいのか等)。</p> <p>「何をしたらいいかわからなかった」「むずかしい」との学生コメントが授業中のアンケートや学期末の授業評価で示され、また授業評価では「説明は理解しやすい」が(英2年)2.9、(観3-4年)2.4、(観2年)2.7とやや低いので、分かり易い説明になるよう更に工夫を要すると認識している。大事な言葉をゆっくり話す、教材の「穴埋め」部分を繰り返し言う、図や絵をもっと多用して解説する、わかり易い事例を使っての補足説明をもっと多くする、といったことを心掛けたい。</p> <p>・なお、「もっと自信をもってください!!!」との学生コメントの意味がどういうことか分からなかった。滑舌よくスムーズに大きな声で語れなかったときのことを言っているのかもしれない。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>・達成状況については、知識の伝授に主眼をおいていることから、「思考判断」がやや達成できなかったのは致し方ないかもしれない。</p> <p>・上記6の課題を認識している。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	林裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
欧米文化交流研修B	全学年	前期	選択	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①授業は、人文学部の全学年両学科が対象。但し科目名は学科、学年で異なる場合がある。選択科目であり、前年度の後期の途中から目的地、予算、日程の大きな枠組みは揭示して示していた。オリエンテーションでは、40名近くが来たが、お遊びではなく、研修が目的である、参加すれば自動的に単位となるものではないことを説明すると、およそ三分の一が辞退した。また、非常に残念ではあるが、授業開始後、途中で辞退する学生も出てきて、最終的に授業を受ける者は、全学年、両学科では16名となった。開講時の授業準備性としては、中学の英語レベルは身につけておいて欲しいこと、基礎的なことは繰り返し行うことを説明した。授業を受ける学力的な条件は示さなかったため、意欲と家族の支援が得られることが、事実上の条件となった。以前に目的地(カナダ バンクーバーのLangara College)で研修を行った飯田教授のテキストを引き継ぎ、二冊を使った。reading, listeningを主に強化するテキストであった。学生の実態に即して、全部を無理やり行うのではなく、学生の理解にあわせて、DVDの映像を活用して、誰もが参加できる部分を増やした。国内での授業回数は、12回。カナダでの授業を国内3回分と換算した。②動機づけは、アンケートの受講動機で③関心のある内容であるが、71.4%であり、きちんと担保されていた。必修科目であるからとしたのが1名いたが、誤解である。一つの授業で、人文学部の両学科の学生がいる場合に違いが出るのは、課題に対する態度である。提出物を求めると観光文化学科の欠席率が高くなるのである。この点は抜いに苦慮した。オリエンテーションで厳格に単位認定基準を説明すべきだった。学修準備性の上からは大いに問題であった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された		

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的には全員が単位を得た。単位認定がLangara College側からの成績、出席状況報告を得てからの評価となり、国内での評価の部分とカナダでの評価の基準が若干異なっていたことがわかった。Langara側の評価は、知識・理解と技能・表現に焦点が置かれていたことを途中で把握した。これに対して、三週間のLangaraの研修中に途中二週間目で、レポートを課して欲しいことを依頼した。通常のカナダの大学でのレポートは現実的ではないので、60語程度の「レポート」を最終的に出してもらい、評価対象とした。なお、Langaraの授業はほぼ毎回、最後の5分程度はオブザーブした。目標別にみると、関心・意欲(DP3-1)だけで100%である。評価方法は、試験(30)、小テスト(30)、レポート(20)、発表(口頭、プレゼンテーション)(20)となっていた。どの学力層からも受講可能なので、非常に学力の幅は広がった。学力の低い層は、発言する際にも声小さく、積極的な発言は少ないので、カナダでの研修を想定して、最初は小声でもいいからとにかく話す機会をもたせて、話させるようにした。ただ、これは語学に関してというよりは、性格的なものであり、積極的な発言をしないということは、カナダに行って、刺激を受けて、学生が自らの生き方を修正して、自己主張をすることが必要な社会に暮らしていることを理解することで変容していった。大学、ホームステイ先で鍛えられて、話す能力が瞬間的にはあるが、驚異的に伸びたことは観察できた。これは、ほぼ毎日学生を観察して、最も学びの早いグループは二週間目の最初に昼食時に英語で話をしていて、最も遅いグループでも、二週間経過後に英語を昼食時に話していたのを実際に見たことからの判断である。学生アンケートでは、4. 学習量の評価を見てみる。自発的学習について、「(4)授業の課題以外の学習に取組みましたか」は、回答者の85.7%が、「取組んだ」としている。絶対的評価では反映しにくい、関心・意欲(DP3-1)、態度(DP4-1)は十分に満たすものとして、理解できる。西南での授業の出席率が悪い学生の扱いは苦慮したが、Langaraでは、16名中の1名が、交通機関を乗り誤って、一時間程度一回遅刻しただけであり、Langaraの授業担当者も出席状況が完</p>
--	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は、専門科目で選択である。繰り返しになるが、経済的な要素が、履修するには決定的に作用する。それをクリアして参加してきた学生であるので、動機づけは十分にできている。アンケートでは、動機として、「必修科目だから」が、1名いるが、誤解である。このアンケートは、国内での授業の最終回での結果であり、本来は、Langara Collegeの過程を終わった時点であれば、また別の結果が出たであろう。Langara Collegeの基準では、成績評価は、75～95%の範囲内であった。内容としては、非常に基本的な内容に見えるが、それは、speakingのレベルにまで持ってくる場合には、日本の中学校レベルの語彙、表現、文法事項までカバーすることは、極めて自然であった。西南での授業とLangaraでの授業の継続性を考えると、今後はもっと、事前の打ち合わせを両校間で密にすることで、改善点が見られるであろう。Langaraでは、当然ながら西南からの参加者同士で過ごす時間(除く授業時間)を除いては、all English であるので、それに対しての心構えを説いておく必要もあり、国内でもその擬似空間を設けることには、次年度担当者として検討したい。</p> <p>意味を持つ配置であり、妥当であると言える。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から、目標別にみると、関心・意欲(DP3-1)だけで100%である。では、授業では、それを具体的に評価するかであるが、それは、「学生が達成すべき行動目標」では、1. カナダの歴史、文化、社会及び観光事情を理解する。2. 異文化理解に役立つ知識を習得する。3. 実践的英語力を養う。4. 外国文化と日本文化を相対的に観察できると、4項目で示していた。本来は、カナダでの研修部分についての評価アンケートも実施して、学生自身の到達度の自己評価を得るべきであり、これは教務課とも今後相談したい。国内での12回</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、④口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受けつけ、それに答える機会が作られていたかが、平均値3.4で、同じ授業を受けていた英語学科の学生の平均値3.1と比較すると若干高い。これは、観光文化学科の場合には、他の授業で、そのような機会が多く恵まれていないので、逆にこの授業では高く出るのであろう。提出物の提出率も低く、求めているレベルまで達することは困難である層がいた。しかしながら、カナダに行ってわかったのだが、カナダでは先ずは基本的に話すことのトレーニングが中心となり、書く課題については、当初は余り問題にならなかった。学生の意見としては、4. 学習量の評価について、「授業の課題以外に具体的に取組んだ学習」に対して、「単語の学習」「中一からの復習」が示された。基本はどれほど強化しても、無駄ではないことを毎回説いていたが、それを実践していた学生がいたことがわかる。また、アンケートの情報利用で、(3)シラバスに沿って授業を受ける計画を立てた(71%)、(4)教員のオリエンテーションに沿って授業を受ける計画を立てた(57%)が示すように、計画的に多くの学生がこの授業に取り組んでいたことがわかる。「時間がなかったから」とある。これに対しては、オリエンテーションで、全体の構成を示して、具体的な学習時間がどれくらい必要かを理解させることが必要である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>Langara College の学びも含めて、学生の評価を確認して、次年度につなぎたい。瞬間的ではあるが、カナダでは全員が授業以外でも英語を話していた。英語を話せるようになることだけが、この授業の究極的な目標ではないが、そこまで持っていた学生の頑張りや、高い評価に値するものと考えられる。カナダでのホームステイのトラブルが二件あったが、学生は自分でLangara College の担当事務部門(Home Stay Office)に交渉して、解決策を見出した。このように外国でその国の言葉で、不利益をこうむらないように自己主張ができた体験を持ったことは、今後の学生のキャリアには大きな経験となったであろう。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①基礎演習Aは高等学校教育から大学教育への円滑な移行を図るための基礎教育として位置づけ、まず大学での学習方法を理解してもらう。大学での学習には不可欠な要素である「文献を探す」「読む」「書く」「話す」のアカデミックスキルの基礎を修得することを目指す。</p> <p>②昨年度までと同様、授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。学習者の関心事を新たに加えた。</p> <p>③8コマ目まで「知へのステップ」教材に沿って授業を進めてきた。9コマ目から「女性の本格」という本を中心に学習してきた。学生を主体として司会、発表、自主性を引き付けるようにしてきている。最後に教員が講評する。</p> <p>④学生全員に毎回レジュメ感想文を書かせたり、発表させたりして学習意識及び方法を高めるようにしてきた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は83点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として、総合的に作成)に達したものは2人と限られた。</p>
--	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性、本科目は基礎演習科目である。専門演習科目、卒業研究をつなぐ要の位置にあり、必修である。内容的に妥当であるとする。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.7と高かったが、「説明は理解しやすいものであった」の平均は4.1と低かったことが想定より低かったことも反省点である。次年度に向けては、説明方法を検討するべきである。なお、図書館利用においては、「この授業では図書館の図書、雑誌を利用した」の項目は基本的に利用しなかった。今後できる限り図書館の利用習慣をつけていくように促していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>基礎演習Aは、基礎的知識の形成、学習の方法については、概ね達成できたが、2年までアドバイザーとして常に連絡し、指導を引継ぎ続けていく必要がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	須藤秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○		○	

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年次必修科目であり、導入教育を扱う重要な科目であるとして臨んだ。大切にしていることは、高校と異なる大学での学び、とくに論文を作成する取り組み姿勢を理解させること、調べたり本を読む習慣をつけさせること、自分の主張を述べる楽しさを味わえること、などである。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成されなかった	やや達成された		やや達成されなかった
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「全体」について、「自分なりの目標を達成した」の平均3.0であり、上記の通りと思う。「知識理解」については、学科統一テキストに沿って、レポート・論文の書き方を学んだが、論文の初めに追求すべき「問い」をしっかりと立てていないこと、資料の出所表示をきちんと書くなどルールが身に付いていない部分があった。「思考判断」については、論文が一応筋道立って書かれていたので、上記の通り考える。「態度」については、訂正レポートの再提出を励行すべきであること、図書館利用を積極的にすべきであることなど、もう少し前向きな取り組みを望みたいところである。従って、上記の通りとした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学科統一のテキストを使い、大学での学び、論文や口頭プレゼンの仕方などを演習を通して学び、導入教育として内容的に妥当であった。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「説明は理解しやすいおのであった」が、(他教員と比べてかなり低い)2.8であった。担当教員として理解できない部分もあるが、来年度に向かって、理解度に沿った丁寧な説明、学生の動機づけを心掛けたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生にもう少し前向きな取り組み姿勢を望みたいところである。インターネット情報だけでなく、もっと文献を読み活用すること、図書館をもっと利用すること(他のクラスと異なり、連れて行ったのだが、図書館の利用がゼロ)など、よい学びの習慣をもっと身に付けさせる必要があった。 一方、ゼミ対抗のディベートに参加して、熱心に取り組んでいた他チームから良い刺激を受けた模様であり、そういう自分たちの気づきから、今後に期待したい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	八尋春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○			○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>シラバスとテキストに忠実に授業を進めると、どうしても時間が余ってしまうため、その余った時間の有効活用をした。大学に入学したばかりで、授業の受講方法の基本的なことさえも分からないことが多いために、過去の履修生が苦労していたようなことを余った時間での指導に使った。他の授業でも適用できるような授業の受け方などについてもその時間で指導をした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の出席率はほぼ100%で、こちらから指導をしていないのに、常に最前列から詰めて座って真面目に授業を受けていた。授業の理解度は肩癱であり、全員が「秀」であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>シラバス通りに授業を進めて時間が余ることがそれ自体が問題であり、次年度は学科で相談の上、授業の進め方、使用するテキストについても変更すべきであると 考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の学習達成状況は完べきであり、前述のように、今後はシラバスの変更が必要であろうと考える。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	飯田 一郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習 A	1		必修		12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○		○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学科共通テキスト「知へのステップ」を使用して、レポート、論文作成の技法を教授した。別途「女性の品格」(PHP新書)を使って輪読、討論した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>テキスト「知へのステップ」の毎週の課題を提出させ、ほぼ全員が90%の出来であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学科ディベート大会の準備を当講義で行い、論理的に意見を述べる訓練を積むことができた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学科共通テキスト、副教材の輪読、ディベートの訓練を通じて、総合的に考える力を養成できた。また、夏休み文学作品を読ませ本に対する関心を向上させた。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	木沢誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○			○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>必須科目で、学科の統一テキストを使用した。しかし、それだけでは、「演習」の目的が達成できないので、授業の1回分(90分)の半分をテキストによる講義、後半をそれらを活用した演習に当てた。たとえば、テキスト「情報検索」の項では、実際に図書館の協力を得て、ライブラリツアーをし、予めテーマを決めさせて、それに合致する文献を検索して借り出す課題を与えた。また、「書く」の項では、その文献から要約と問題提起レポートを書かせ、さらに「発表する」の項目では、そのレポートによる発表を課した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の授業アンケートによる。到達度、情報利用などの項において読み取れる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>初年次基礎演習のいわゆる、読む、書く、発表するなどの初歩的な学習能力養成の観点からほぼ妥当と思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「読む、書く、発表する」までは一定の効果を得たが、「議論する」がほとんどできない。指名しても答えられない。そこで、一つの発表に対して、質問や感想などの発表をした学生にその回数を記録し、議論の後に回数を公表する手法を取ったところ、やっと発言するものが出た。要するに、主体的な発言ではなく、追い込まれての発言と言える。学生が選ぶテーマも社会性があるものから選ばせたが、比較的難しいテーマを選ぶものが多く、それに対する議論ができなかったのも要因と考えられる。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>「読む、書く、発表する」の基礎能力は一定程度身につけられたとして、「議論する」ができない。それが、2,3年生になっても、他大学学生に比べて劣位にあることに気づかない。なぜなら周囲がそうだから。早く、他大学学生と交流するなどして、キャンパス内にとどまらない刺激を得る方が、手段としてはいいのかもしれない。3年生以降の本格的ゼミでは、それができるのだが(木沢ゼミでは、北九大・地域創造学群の学生と定期交流をしている)、方法を考えたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「必修科目である」100%、「単位数を確保する」25%、「関心のある内容である」12.5%となっており、履修者が「基礎演習A」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないことが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる(本学科では、「基礎演習A」のシラバスは、代表の教員が作成している)。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト(レポート作成と発表)を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は92点であり、再試験対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては62.5%、思考判断に関する問題は75%、技術表現に関しては69%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、技術表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館、インターネットの利用に関しては、前者は、50%未満で、後者は50%となっているが、図書館の利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、技術表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「基礎演習A」であるが、「専門演習科目」と「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であるとする。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生が積極的に参加する機会・環境を作っていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>専門演習科目の入り口にあたる本科目「基礎演習A」の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。</p>
------------------------------	--

学科	観光文化
氏名	林裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎演習A	1	前期	必修	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は「演習・研究」分野の必修科目である。これから、四年次の「卒業研究」まで、積み重ねをしていく中での最初の科目である。受講動機が、100%「必修科目」であることが示されているのは当然である。シラバス授業概要(共通シラバス)には、共通テキスト(知へのステップ)を使い、大学生として必要な基礎学力を養成する授業と示している。その基礎学力とは、読む、書く、聞く、話すの四技能を大学の学習で必要とされるレベルまで高めるとしている。学生の行動目標として、4. 新聞や本を読む習慣がついているがある。しかしながら、第一回目の授業で新聞を読むかに対して、9名中の1名だけが読むとの結果であった。その理由として、新聞を定期購読しない状況が増えてきたことも確認した。学生にとっては当たり前になっているネットを利用して読めること。また、大学図書館の現物の新聞、図書館のデータベースからデジタルで全国紙が一紙、学内であればどこからも読めることを最初の授業で伝えた。学生の動きは、授業評価アンケート6. 図書館利用の項目が、延べ16名であり、学生が利用したことが確認された。</p> <p>②読む、書く技術については、新聞の読者の声欄に3回投稿させることを方法の一つとした。これについてはオリエンテーションで説明して、その目的として、シラバスの達成すべき動目標を実現するためとして、理解をさせた。この時点で投稿の原稿をハードコピーで出す日、それを無記名でお互いに配布し、持ち帰り、添削する(1. ほめる、2改善点を示す等)、次の週に集めて、本人に返して、他人の添削を生かして、推敲・投稿するというサイクルを確立させた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①最終的な成績は、A(秀)が66.7%、B(優)が33.3%。授業への出席、提出状況、取組みは非常に優秀であったことで、理想的レベルに達した。試験は評価割合に含まれていなかったが、9名という少人数であり、学生の一人一人の力が把握できた。</p> <p>②目標別に見ると、知識理解が50%、思考判断が35%、技能表現が15%である。それらが伸びたかどうかを総合的に判断する際に極めて方法として極めて大きな役割を果たしたのは、木沢准教授が過年度から提唱・実施していた「debate」である。本年度は、この科目(専任教員8名)の共通の取り組みとして取り込んだ。大教室を使つてのdebate大会では、ステージに上がり、事前に与えられた主題について、その場で賛成・反対の立場が決まり、討論をしていく。その段階では学生は自分たちだけで、判断して議論をしていくしかない。これが非常に大きな教育効果を生んだと判断できる。その根拠は、アンケート3.授業の質評価(4. 授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られている)が、平均値4.4であったことである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性 アンケートの自由記述では、授業の課題以外に取組んだ学習として、「本や新聞を読む」があり、大学生の第一歩として身につけた学生もいたことが確認できた。シラバスにも示したように、基礎学力養成が目的であり、それを身につける学習方法を学生は学んだと言える。その根拠は、新聞の投稿の原稿作成で、共通テキストの指定部分を読み、文章全体の論理的なつながり、説得性の理解が、格段に進んだこと。その成果として、実際に新聞に掲載された者が、最も多い回で4名出たことである。②この科目は、2013年度までのカリキュラムのプレゼミ(授業回数8回、専任アドバイザー担当)を廃止して、2014年度から、それまでもあったこの名称の科目にプレゼミ的な狙いを加味して始めたものである。その目的は、入学時の学生の孤立を防ぎ、入学直後の不適応を減らし、一人一人の帰属グループや友人作りをさせるものでもある。但し、これはシラバスには記載していない。また、少人数であり、アドバイザー(1年前期から2年後期までのアドバイザー)が直接指導することで、となり、学生と教員の間で話ができるような信頼関係を築くことでもある。以上のことからカリキュラム上の位置づけでは極めて大きな意味を持つ配置であり、妥当であると言える。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から、知識理解が50%、思考判断が35%、技能表現が15%の割合である。これらが学生の間でどのように観察されるのかは、学生の到達度自己評価を参照する。(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができたが平均値3.9、(3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができたが、平均値も3.9であり、(8)コミュニケーション力が表現力を高めることができたが、平均値4.1である。従って、内容的妥当性には問題がないといえる。最も進んだ点があることである。それは、到達度自己評価中の最高の</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方について の課題以外に学習していない理由の項目に対して、「あまり時間が取れなかった」が出た。次年度からは、オリエンテーションでシラバスを読み合わせして、この15回の授業で毎回どれぐらいの時間が必要なのかを入念に説明することにする。②学習量の評価について ケートでの4、(1)一回30分程度の準備をどれくらい行いましたに対して、④4～5回が3名で、1回30分程度以上の復讐をどのくらいしましたかに対して、4.5回が2名である。つまり、受講者の55.5%が予習か復讐に30分程度費やしたということである。残りの四割強の学生にどのように予習復讐の習慣付けを行うようにするかが、次年度への課題となる。</p> <p>4. 学習量の評価(4)授業</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>個別の授業としては、必修科目として最小の人数の授業であり、またdebate大会では、1年生全員が揃う場面での、問題解決型の学習内容も含む。次年度は、debateをシラバスに明記する方向で考える。総括的評価としては、教員の評価判断以外に、8回程度学生の投稿が新聞に掲載されたことでも示されるように、世の中で読まれるに耐えうる文章が書けることも証明されたことで、一種の外部評価として、より信頼性の高い評価を得たと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	八尋春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習 I A	2	前期	必修	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○			○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年次の「基礎演習」において、論文の書き方の基礎は十分に指導をされており、この授業ではその応用ということで、特に質的な調査に焦点をあてて授業を行った。フィールドワークなど自らの足で現場に向かう方法を教示し、座学が苦手な学生でも自分に向けた研究の手法があることを伝えた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の授業理解度は極めて高く、最終成績において「優」と「秀」を取った学生の割合が8割にも達した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>演習の必須科目であり、論文執筆の方法などについて1年次の復習をするのが従来の方法であったが、今回はそれを、研究手法につて新たな知見を与えるものへと変更した。それが良かったのか、学生の授業中の集中力は極めて高かった。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

学生は満足しており、今後も、1年次の演習の復習ではなく、新たな研究の手法を教示するやり方を維持していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今回は、新たな挑戦であったが、それがうまくいったのは幸いである。これに満足することなく、さらに新たな挑戦を行いたい。

リフレクションカード 2015年度前期

学科	観光文化
氏名	林裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習 I A	2	前期	必修	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は「演習・研究」分野の必修科目である。学生からすると、同分野の科目としては、三つ目である。一年次の基礎演習A、Bに続き、この科目に続いて、二年後期の専門演習 I B、それ以降の通称ゼミ(三年専門演習 II、四年卒業研究)への中間的な位置づけである。受講動機は、1.必修科目である(92%)、4.単位数を確保する(20%)、5. GPAを上げる(8%)、関心のある内容である(4%)であり、外圧的な動機がほとんどであり、内容からの選択動機が、4%だけである。これに対しては、第一回目の授業から毎回、観光文化学科で、この授業概要(質的調査の方法について学び、練習問題を通してそれを実践してみる)が、大学を出て実社会でどのように関連するかを説明することで、内的な動機付けが高まるようになってきた。なお、アンケート結果がわかって時点では、既に授業は終了していた。しかしながら授業期間中には、学生の関心が余り高くないことは、体感的には把握していた。その時点で、学生への授業準備の課題として、テキストの読み込み、配布プリントの下読みを課して、学習をすることで、面白みをつかめるように準備させた。担当者にとっても初めての科目であり、試行錯誤を重ねながら、遠大な目標ではなく、少し頑張れば手に届く目標を学生に毎回課すことにした。</p> <p>②毎回の小テスト(新聞を利用したもの)、7月の新聞投稿と最後の二回の授業でのPPT使用と質的調査を取り入れたレポート(報告)の予定をオリエンテーションで示していたので、段階的に準備をして学生は取組んだ。</p> <p>③質的調査のテキストは、学生にとってはチャレンジングなものであり、三回目以降の授業では学生の予習を確認して、理解の度合いを見るために、意味、読みが比較的難しい表現をまとめたプリント配布し、ブランクに記入させる方式で、授業最初に学修準備性を一定のラインで整えた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①最終的な成績は、A(秀)が37.5%、B(優)が31.3%、C(良)が28.1%、D(可)が3.1%であった。評価割合は、知識理解が30、思考判断が20、技能表現が50であり、それらを総合的に判断できたのが、最後のレポートの報告である。このレポートの報告は学生の相互評価も取り入れて、同級生のレポートから新たな知識を得るという場面もなった。相互評価の評価項目は、1年前期の演習研究科目(基礎演習A)の共通テキスト「知恵のステップ」の巻末の発表評価シートから取った。客観的に5段階で評価をさせた。</p> <p>②アンケートの④学生の目標達成状況についてを見ると、10項目が、平均値3.1～3.4の間であり、授業の質評価でも、5項目が平均値3.0～3.5である。それらは決して高いとは言えない。しかしながら学習量の評価を見ると、(3)授業の記録はどうしましたかに対して、回答者の36%が③自分なりのノートを作成したとしている。これは前期の演習研究科目の中では最も高い数字であり、自主的に取組む学生が三分の一以上いたことを証明する。</p> <p>③欠席がちな学生が少数いたことは課題である。その中には、AO入試(b)では行ってきた学生がおり、スポーツの試合等のスケジュールで授業に参加できない場合があった。どうしても試合で休まざるを得ない場合を除き、他の授業は必ず出席するように、根気強く説いていくしかないであろう。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性</p> <p>アンケートの自由記述では、「授業の課題以外に学習していない理由」として、1. 特にならから、2. 授業内容を一生懸命やっていたから、3. 見つからなかった、4. しなくてもよいと判断した、5. 課題が多かったからと示されている。2、5からは、授業の課題消化に精一杯だったことがわかる。1,3,4からは、学習課題をもう少し、明確にわかるように学生に伝えるべきであったと考える。学習として、「授業の課題以外に取組んだ学習として、「課題」が示されている。これは学生のアンケートの誤解である。図書館利用については、三項目(1) 図書館の図書、雑誌を利用した(52%)、(2) CiNiiなど図書館から利用できる学術データベースを検索し、利用した(52%)、(3)インターネットのホームページを検索し、利用した(68%)であり、調査研究、特に質的調査に必要な技能向上に利用したことがわかる。</p> <p>以上のことからカリキュラム上の位置づけでは意味を持つ配置であり、妥当であると言えるのではないだろうか。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性</p> <p>成績評価から、知識理解が30%、思考判断が20%、技能・表現が50%の割合である。これらの評価割合での学力の伸びが、学生の間でどのように観察されるのかは、授業最後のレポート(報告)の相互評価の自由記述が示すところが大きい。学生は、他者の知識を張り付けて、レポート完成として提出している学生に対しては、厳しい評価を下している。つまり、コピー&ペーストに対しては、眼差しは厳しい意識がある。レポートの条件として、授業中に行った質的調査(アンケートや観察やインタビューモデル等)のどれかを含むことを課していた。これを学生はきちんと理解して、相互評価を行っていた。以上により内容的妥当性は確認されたと言える。</p> <p>③まとめ</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方について の質評価で、(3)説明は理解しやすいものであったは、この「授業の質評価」で最も低い3.0であった。確かにこのことは理解できるものであった。授業を落ち着いて受ける雰囲気作りから再考する必要がある。それと少なくともテキスト予習のチェックも行う必要があるであろう。</p> <p>4. 学習量の評価(4)授業</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>個別の授業としては、必修科目として、本年度にはゼミ選択を行う年度でもある。一年次の基礎演習A、Bの学習内容への積み上げで、質的研究を学ばせた。学生にはこれまでの演習・研究科目の内容からは、ギャップを覚えたようであり。おそらく学生には、アンケート調査は理解できるとしても、フィールドワーク、観察法となると、かなり難易度が高いものであっただろう。但し、学内で実際に行った観察法の結果を最後のレポートには取り入れていた学生がほとんどだったので、最終的には理解が進んだものとする。次年度は、質的調査を学ばせるのであれば、最初の数回の授業を使い、基本的な質的調査の概念の説明を入念にするように改善を行いたい。</p>
------------------------------	--